取扱説明書

電子式直流受信メータ

<u>XLC-110</u>

ハードモデルA【バックライトなし】

<u>XLC-110L</u>

ハードモデルD【白色バックライト】



このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を正しく取り扱っていただくために必要な事項について記載されていますので、ご使用の前に 必ずお読みください。

安全上のご注意

■ 使用環境及び使用条件

下記の環境下では本製品を使用しないでください。誤動作や故障につながることがあります。

- 周囲温度-10~+55℃、湿度85%RHを超える場所(メータ周囲の平均温度が40℃を超えると寿命低下の原因となります)
- 腐食性ガスが発生する場所(腐食性ガス: SO₂ / H₂S など)
- 振動や衝撃の多い場所
- 外来ノイズの多い場所
- 標高 1000m を超える場所

■ 屋外盤での使用条件

屋外盤で使用する場合、下記の事項にご注意ください。

- 本製品は、防塵,防水,防滴構造ではありません。塵埃の発生する場所は避け、雨や水滴が直接当たらない場所に 設置してください。
- 直接日光があたる場所には設置しないでください。ガラス越しであってもできるだけ直射日光が当たらないよう 配慮してください。本製品に直射日光が当たりますと、表面の温度上昇によりケースが変形する恐れがあります。

■ 取付・接続

取付や配線を行うときは取扱説明書を参照のうえ、下記注意事項を守り専門技術を有する人が行ってください。



■ 使用前の準備

本製品を主電源に直接接続する場合には、外部に適切なヒューズを入れてください。 本製品は使用前に設定が必要です。取扱説明書をお読みのうえ、正しく設定してください。設定に誤りがありますと正し く動作しません。

■ 使用

本製品を使用するときは、下記事項に注意してください。

- 入力は定格範囲内でご使用ください。定格範囲外での使用は機器が故障する恐れがあります。
- 操作しないときはスイッチカバーを閉めてご使用ください。
- ●本製品は計測要素により最大値、最小値を保持する機能があります。この値は停電保証されており、電源リセットでもクリアされませんが、電源投入時に入力が加えられない場合、最小値が更新されてしまう場合があります。このため、電源投入により過去の最小値を保持させるためには、電源投入後1秒以内に入力を加えてご使用ください。



■ 設定

本製品は使用前に単位表示などの設定及び確認が必要です。初期設定でご使用の場合、設定及び確認の必要はありません。 設定に誤りがありますと、計測や出力が正常に動作しない恐れがあります。 設定は取扱説明書を読んでから行ってください。

■ 結露について

製品が無通電のとき、設置場所の温度や湿度が急激に変化すると、表示部内側に結露による水滴が付くことがあります。 (表示部中央でフィルタが液晶表示器表面に吸い付き、丸や楕円状の模様が発生します。) この現象は補助電源を通電し、約2時間放置することで無くなります。そのままご使用ください。

■ 保守・点検

- 通電中の点検は、危険ですので行わないでください。
- 計測値、目盛数字、単位等が正しく表示されていることをご確認ください。
- 液晶表示部の変色、ケースの破損などが無いこと、配線や取付ねじのゆるみが無いことをご確認ください。
- 定期点検における交換部品はありません。
- 清掃する場合、乾いた柔らかい布などで軽く拭き取ってください。 アルコールなどの有機溶剤や化学薬品、クリーナーなどは使用しないでください。 液晶表示面は拭き取り中に表示が点灯することがありますが、これはフィルタに静電気が帯びて起きる現象です。 しばらく放置しておきますと自然に放電して元に戻ります。また、フィルタを押したとき、フィルタと液晶表示面 が接して丸や楕円状の模様が発生することがありますので、フィルタを強く押さないでください。

■ 保管

長期間保管する場合は、次の環境下は避けてください。

- 周囲温度-20~+70℃、湿度 5~90%RH を超える場所
- 日平均温度が 40℃を超える場所
- 腐食性ガス及び塵埃の発生する場所
- 振動や衝撃の多い場所
- 製品にアルミ電解コンデンサを使用していますので、ご購入後なるべく1年以内に電源通電をしてください。

■ 故障時の処置

故障の場合は原則、現品を引き取り修理することになります。

■ 廃棄

本製品を燃やしますと、環境に悪影響を与えます。本製品を廃棄する場合は産業廃棄物(不燃ゴミ)としてください。本製品には水銀部品、ニッカド電池は使用していません。

■ 保証期間

保証期間はご注文主のご指定場所に納入後一年と致します。

■ 保証範囲

上記保証期間中に納入者側の責任により故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、又は修理を納入者側の責任 において行います。ただし、次に該当する場合は、この保証の範囲から除外させていただきます。

- (1) ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障。
- (2) 納入者側の定めた使用、保管等に関する諸条件に反したことに起因する故障。
- (3) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (4) 移転その他の輸送、移動、落下による損傷及び故障。
- (5) その他、天災、災害などで納入者側の責にあらざる場合。

なお、ここで言う保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきま す。本取扱説明書に従った製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、又は 修理を無償で行います。

■ 取扱説明書記載内容の変更

この取扱説明書は製品改良などにより記載内容を予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

目 次

1. 製品説明	
1.1 用途 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
1.2 特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	-
9 久郊の夕称と機能	1
	т
o	
3. 华俪	_
3.1 取付	5
3.2 結線 ·····	6
4. 操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
5. 表示	
5.1 入力1回路の表示例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
5.2 入力2回路の表示例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
5.3 入力3回路の表示例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
6. 設定	
 6 1 機能一覧と初期設定値 	9
6.9 設定機能例 ·····	11
	11
	15
0.4 計例衣示七一下詳細説明 。 = 記 古秋 mž m	15
0.5 設定詳細説明 ·····	18
6.5.1 設定モード1 ・・・・・	18
6.5.2 設定モード2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
6.6 バーグラフのスケールについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
7. 仕様	
7.1 仕様コード・形名 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36
7.2 仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
7.3 性能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
7.4 オプション什様 ・・・・・	39
8 トラブルシューティング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
	09
日回1 バーフケール日成区八洋畑	10
11凶1. ハーヘリール日盈区万計神	40

1. 製品説明

1.1 用途

種々の物理量の測定においては、それらを電気的信号に変換し表示させますが、本製品はその表示を目的として使用します。3つの物理量を同時に表示させることができ、またその物理量に比例した3つのアナログ出力ができますので、システムに合わせた集合監視ができます。

1.2 特長

- 1台で直流入力3回路の同時計測表示が可能です。
- 入力相互間 2000V 絶縁です。
- フルスケールを任意の計測値に設定できるスケーリング機能付です。
- 18 種類の単位から任意に設定できます。
- バーグラフ表示(1計測)にてメータ感覚で確認できます。
- 上限・下限フリッカ設定可能(設定指標付)。フリッカ機能 0FF で管理指標として使用できます。
- 計測表示の最大値と最小値が保持できます。

設定モードでは設定値の繰り上げに使用します。 設定で(DISPLAY)との機能入れ替えができます。

- アナログ出力(オプション)は、3回路まで取り出し可能です。
- 電源は AC85~253V、DC80~143V の交流直流両用及び DC20~56V が製作でき、幅広い電源範囲に対応できます。
- 従来の110角の機械式メータと取付方法に互換性があります。(取付けは対角2点)
- バックライト機能を装備(XLC-110L)
 また、点灯、消灯、自動消灯の選択及び明るさの設定が可能です。LED: 白色

2. 各部の名称と機能



3. 準備

3.1 取付

下記外形寸法図、パネルカットを参照のうえ、厚さ10mm以下のパネルに付属のM5ナットで取付けてください。

● 外形寸法図



● 液晶表示器の視野角

取付:液晶表示器は見る角度によりコントラストが変わりますので、最適な角度となる位置へ取り付けてください。

(2) 上段取付用

(1) 取付位置共用





(横から見た図)



(上から見た図)

10° 60°



(横から見た図)

- ▶ 取付
- (1) 製品をパネルのカット穴に前面からはめ込みます。
- (2) 付属の取付用 M5 フランジナットにて製品を確実に 固定してください。 フランジナットの締付けトルクは、2.0~2.5N·mと してください。





3.2 結線



注(1) 出力1、出力2、出力3、リセット入力は各々オプションとなります。

- 結線上の注意事項
 - (1) 安全のために結線終了後は、必ず端子カバーを取付けてください。
 - (2) 入力側と出力側の配線は分離し、外来ノイズに対する配慮(誤動作防止)をしてください。
 - (3) アース端子(5番端子)は、必ず接地してください。また、アース端子と大地間の接地抵抗は100Ω以下として ください。
 - (4) 本製品と遮断器及び、リレー接点信号線との距離はできる限り離してください。
 - (5) アナログ出力を直接遠方に送る際、伝送線路に誘導雷サージ等の影響を受ける恐れのある場合でも、本製品に 保護は不要です。なお、受信器側の機器を保護するために線間サージ保護器及び伝送線路と大地間に 500V 程度 のアレスタ等を受信器側へ設置してください。

4. 操作



スイッチ	機能
SET	3 秒以上押し続けると表示モードから設定モード1になります。 DISPLAY スイッチと同時に3秒以上押し続けると、表示モードから設定モード2になります。 DISPLAY スイッチで表示モードに戻ることができます。
_	フリッカ値の確認ができます。 DISPLAY スイッチで表示モードに戻ることができます。
+	最大値・最小値の確認ができます。 DISPLAY スイッチと機能を入れ替えることができます。
RESET/SHIFT	1 秒以上押し続けると、最大値・最小値のリセットができます。
DISPLAY	バーグラフを表示させる入力要素を切り替えることができます。 + スイッチと機能を入れ替えることができます。

便利な機能

設定モードのまま操作を止めてしまっても、10分間無操作で表示モードに戻ります。

5. 表示

5.1 入力1回路の表示例

表示組合せ	パターン1 主監視:入力1 (INPUT 表示は点灯に設定)
表示 スケーリング	入力1:0.0~100.0A の場合
画面表示	INPUTI バーグラフ表示部[主監視] 入力1の計測表示 ンボルです。 計測表示中は常時点灯 マリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリ

5.2 入力2回路の表示例



5.3 入力3回路の表示例



6. 設定

6.1 機能一覧と初期設定値

出荷時は、下記初期設定値となっていますので、ご使用条件に合わせて設定を行ってください。 なお、設定品につきましては、ご指定の設定で出荷されています。

設定モー	ĸ	1	機能-	-覧

設定 番号	機	能	機能の内容説明	初期設定値	重要 項目	参照 ページ
111	表示組合せ	せ設定	デジタル表示の組合せパターンを設定します。 パターン1~6では、最大3回路のデジタル表示の位置 を任意に変更できます。	パターン 1	0	19 20
112 113	単位表示 設定	入力1 入力2	入力1の単位表示を設定します。 入力2の単位表示を設定します。	単位表示なし 単位表示なし	0	19 20
114		入力3	入力3の単位表示を設定します。	単位表示なし	0	20
115	INPUT 表示	ON/OFF	INPUT 表示の点灯 (ON) / 消灯 (OFF) を設定します。 ただし、表示組合せのパターン1のみ有効。 パターン1以外では自動消灯します。	ON	0	19 20
121H	入 十 1	上限値	入力1計測表示の上限フリッカ値を設定します。	100.0 (表示スパンの 100%)	0	
122L	ハカ1 フリッカ 設定	下限値	入力1計測表示の下限フリッカ値を設定します。	0.0 (表示スパンの 0%)	0	21
123	R/L	ON/OFF	入力が検出設定値以上又は以下のとき、デジタル表示を フリッカさせる(ON)、させない(OFF)を設定します。	OFF	0	
124H	7 + 2	上限值	入力2計測表示の上限フリッカ値を設定します。	100.0 (表示スパンの 100%)	0	
125L	ハ <i>月 2</i> フリッカ ご定	下限值	入力2計測表示の下限フリッカ値を設定します。	0.0 (表示スパンの0%)	0	21
126	設定	ON/OFF	入力が検出設定値以上又は以下のとき、デジタル表示を フリッカさせる(ON)、させない(OFF)を設定します。	OFF	0	
127H	7 - 1 3	上限值	入力3計測表示の上限フリッカ値を設定します。	100.0 (表示スパンの 100%)	0	
128L	ハカ3 フリッカ 設定	下限値	入力3計測表示の下限フリッカ値を設定します。	0.0 (表示スパンの 0%)	0	21
129		ON/OFF	入力が検出設定値以上又は以下のとき、デジタル表示を フリッカさせる(ON)、させない(OFF)を設定します。	OFF	0	
131	DISPLAY ス 機能入れ者	イッチ 春え設定	DISPLAY スイッチと+スイッチの機能を入れ替えるときに設定します。 0 1 <t< td=""><td>0</td><td></td><td>22</td></t<>	0		22
151 (²)	バックライ	「ト動作	バックライトの自動消灯 (AUTO), 常時点灯 (ON), 常時消灯 (OFF) を設定します。	AUTO(自動消灯)		23
152 (²)	バックライ	イト明るさ	バックライトの明るさを設定します。	3(中間)		23

注(2) 白色バックライト仕様時のみ設定可能です。

設定モード2 機能一覧

設定	機	- 能	機能の内容説明	初期設定値	重要	参照
留夕 911b	7 十 1	バイアス	入力1の表示バイアス値設定	0.0	項日	
2110	大刀 1 主子	74/7	入力1の表示の「ノス値設定	100.0	0	25
212F 919D	スケールノガ	マツクヘ	入力1の表示マックへ値設定		0	20 26
213F	シーション		八月10小数点改定 1 1 1 0 000 Un まデスタールング訊字		0	20
214	設定	CUS Y , HZ, Var	入力10005, HZ, Var 衣示スクーリンク設定 1 も 0 のまニックマスは訊定	0(標準スケール)	0	
2150	人刀 2	<u> </u>		0.0	0	05
216F	表示 リング	マックス	人力2の表示マックス値設定	100.0	0	25
217P	スクーリンク	小釵点	人力2の小数点設定		0	26
218	設正	COS Y , Hz, var	人力2のCOS♥, Hz, var 表示スケーリング設定	0 (標準スケール)	0	
219b	入力3	バイアス	入力3の表示バイアス値設定	0.0	0	
21AF	表示	マックス	入力3の表示マックス値設定	100.0	0	25
21bP	スケーリング	小数点	入力3の小数点設定		\bigcirc	26
21C	設定	COS P , Hz, var	入力 3 の COS , Hz, var 表示スケーリング設定	0 (標準スケール)	\bigcirc	
221h	入力 1	バイアス	バイアス入力時における入力1(INPUT1) ゼロ調整	0.00		
2210	スカキャルブ		ができます。表示・出力同時に調整されます。	0.00		27
999F	ハバイキック	7181/	入力印加時における入力1表示・出力スパン調整ができ	0.00		21
2221			ます。他のメータと表示を合せたいときなど有効です。	0.00		
0001	7 - 1 - 9	バイマフ	バイアス入力時における入力2(INPUT2) ゼロ調整	0.00		
2230	八月ム	~~~	ができます。表示・出力同時に調整されます。	0.00		97
994E	八万キャリノ	7 18 1	入力印加時における入力2表示・出力スパン調整ができ	0.00		21
224F	V-V3V		ます。他のメータと表示を合せたいときなど有効です。	0.00		
0051	1 + 0		バイアス入力時における入力3 (INPUT3) ゼロ調整	0.00		
2256	人力ろ	N1 / X	ができます。表示・出力同時に調整されます。	0.00		07
0000	人力キャリノ		入力印加時における入力3表示・出力スパン調整ができ	0.00		27
226F	レーション	スハン	ます。他のメータと表示を合せたいときなど有効です。	0.00		
231		入力1	入力1バーグラフ表示のフルスケールを変更します	100		
232	入力感度	入力2	入力2バーグラフ表示のフルスケールを変更します	100		28
233		入力3	入力3バーグラフ表示のフルスケールを変更します	100		
241A			出力1 (0UTPUT1) に、どの入力要素を出力するか		-	
(3)		出力 1	選択できます	入力 1(INPUT1)	0	
242A			出力2 (OUTPUT2) に、どの入力要素を出力するか		_	
(3)	出力要素	出力 2	選択できます.	入力 2(INPUT2)	0	29
243A			出力3 (OUTPUT3) に どの入力要素を出力するか			
(3)		出力 3	選択できます。	入力 3(INPUT3)	0	
251h			バイアス入力時における出力1 (OUTPUT1) ゼロ調			
(³)	出力 1	バイアス	整ができすす	0.00		
252F	出力キャリブ		入力印加時における出力1スパン調整ができます 最大			30
(3)	レーション	スパン	99%まで設定できるので 出力の威度変更もできます。	0.00		
253h			バイアス入力時における出力? (OUTPUT?) ゼロ調			
(3)	出力 2	バイアス	軟ができます	0.00		
254E	出力キャリブ		エルマピュア。			30
$(^{3})$	レーション	スパン	99%まで設定できるので 出力の咸産変更もできます。	0.00		
255h			バイアス入力時になける出力3(OUTPUT3)ゼロ調			
(3)	出力 3	バイアス	救ができます	0.00		
2565	出力キャリブ		並がてきより。 入力印加時におけて出力りてパン調敷ができます。是十			30
200F (3)	レーション	スパン	八川印加時にわける山川3 ヘハン調整ができます。取入	0.00		
()		→ I .	$\frac{55}{6}$ なく設定くさるのく、山力の恐度多更もくさより。			
261		人刀工		OFF		
262	低入力カット	入力 2	「~100」のこさ、ハ川 0.0%不個を 0 衣小、ノ) L が出力をバイアス結にします。 10	OFF		31
263		入力3	ンロバをハイノへ喧にしまり。 $\mathbb{N} \sim \mathbb{O} \sim \mathbb{N}$ (例:-10 ~ $\mathbb{O} \sim \mathbb{O} \sim \mathbb{O}$) $-\mathbb{N} \sim \mathbb{O} \sim \mathbb{O} \sim \mathbb{O}$ (例:-10	OFF		
071		7 + 1	- 0 - 100/、 10 - 0 のとさは機能しません。	0.0		
2/1	* - 7 * *	入刀1	入力がふらついている時など、この設定により	0.0		0.0
212	衣小个恐衔	八月2	表示の感度を落として見ることができます。	0.0		32
2/3		入月3	1 も 1 乱測まニの の1/000 とれかり よよ	0.0		
281	計測表示	入刀上	八刀 I 計測衣示の UN/ UFF を設定します。	UN		0.5
282	ON/OFF	人力2	人刀2計測表示の 0N/0FF を設定します。	ON		33
283		人力3	人力3計測表示の 0N/0FF を設定します。	ON		
291	初期値に戻る		すべての設定を初期化するときに行います。	—		34

注(3) アナログ出力(オプション)仕様時のみ設定可能です。

6.2 設定機能例





6.3 設定早見表

()内の番号は、設定画面に表示される設定番号となります。 <注意>入力回路数又は計測表示 ON/OFF 設定により、除外される設定項目があります。

項目	設定・操作手順	参照 ページ
表示組合せを設定 する(111)	 SET を 3 秒以上押す → + 一で表示組合せパターンを選ぶ → SET を押す → (111) 選んだ表示組合せパターンが登録される → DISPLAY を押す → 表示モードに戻る 	19 20
入力1の単位表示 を設定する(112) (⁴)	SET を 3 秒以上押す → RESET/SHIFT を押す → + 一で単位を選ぶ → SET を押す → (111) (112) 選んだ単位が登録される → DISPLAY を押す → 表示モードに戻る	19 20
入力2の単位表示 を設定する(113) (⁴)	SET を 3 秒以上押す → RESET/SHIFT を押す → RESET/SHIFT を押す → + - で単位を選ぶ → (111) (112) SET を押す → 選んだ単位が登録される → DISPLAY を押す → 表示モードに戻る	19 20
入力3の単位表示 を設定する(114) (⁴)	SET を 3 秒以上押す → RESET/SHIFT を押す → RESET/SHIFT を押す → (111) (112) (113) RESET/SHIFT を押す → 十 一で単位を選ぶ → SET を押す → 選んだ単位が登録される → (114) DISPLAY を押す → 表示モードに戻る	19 20
INPUT 表示 0N/0FF を設定する(115) (⁵)	SET を 3 秒以上押す → RESET/SHIFT を押す → RESET/SHIFT を押す → (111) (112) → RESET/SHIFT を押す → RESET/SHIFT を押す → (114) (115) + □で INPUT 表示を点灯させる (0N)、点灯させない (0FF)を選ぶ → SET を押す → 選んだ 0N/OFF 設定が登録される → DISPLAY を押す → 表示モードに戻る	19 20

注(4) COS🎔、Hz、var 表示設定している時、除外される設定項目があります。

注(5)表示組合せパターン1のみ有効。パターン1以外では設定が除外されます。

(2) フリッカ設定

項目	設定・操作手順	参照 ページ
入力1の上限 フリッカ値を設定 する (121H)	SET を 3 秒以上押す ➡ RESET/SHIFT + を同時に押す ➡ + - で上限フリッカ値を選ぶ ➡ (111) SET を押す ➡ 選んだ上限フリッカ値が登録される ➡ DISPLAY を押す ➡表示モードに戻る	21
入力1の下限 フリッカ値を設定 する(122L)	SET を 3 秒以上押す → RESET/SHIFT + を同時に押す → RESET/SHIFT を押す → (111) (121H) (121H) (122L) + 一で下限フリッカ値を選ぶ → SET を押す → 選んだ下限フリッカ値が登録される → DISPLAY を押す → 表示モードに戻る	21
入力1のフリッカ ON/OFFを設定す る (123)	SET を 3 秒以上押す → RESET/SHIFT + を同時に押す → RESET/SHIFT を押す → (111) (121H) RESET/SHIFT を押す → + 一で表示をフリッカさせる(ON)、フリッカさせない(OFF)を選ぶ (123) → SET を押す → 選んだ ON/OFF 設定が登録される → DISPLAY を押す → 表示モードに戻る	21

(3) DISPLAY スイッチと+スイッチの機能入れ替え設定

項目	設定・操作手順	参照 ページ
DISPLAY スイッチ と十スイッチの 機能を入れ替える (131)	SET を 3 秒以上押す → RESET/SHIFT + を同時に押す → RESET/SHIFT + を同時に押す → (111) (121H) (131) (131) (131) (131) (111) (121H) (131) (131) (131) (131) (111) (121H) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131) (131)	22

(4) バックライト設定

項目	設定・操作手順	参照 ページ
バックライトの 動作を設定する (151)	SET を 3 秒以上押す → RESET/SHIFT + を同時に押す → RESET/SHIFT + を同時に押す → (111) (121H) (131) RESET/SHIFT + を同時に押す → + □でバックライト動作を選ぶ → SET を押す → (151) (151) 選んだバックライト動作が登録される → DISPLAY を押す → 表示モードに戻る	23
バックライトの 明るさを設定する (152)	SET を 3 秒以上押す → RESET/SHIFT +を同時に押す → RESET/SHIFT +を同時に押す → RESET/SHIFT +を同時に押す → RESET/SHIFT を押す → + 一で明るさを選ぶ → (151) (152) (131) RESET/SHIFT +を同時に押す → RESET/SHIFT を押す → + 一で明るさを選ぶ → (151) (152) (151) SET を押す → 選んだバックライトの明るさが登録される → DISPLAY を押す →表示モードに戻る	23

(5) 表示スケーリング設定

項目	設定・操作手順	参照 ページ
入力1のバイアス 値設定(211b) (⁶)	 SET DISPLAY を同時に3秒以上押す→十 一でバイアス値を設定する→SET を押す→ (211b) 設定したバイアス値が登録される→DISPLAY を押す→表示モードに戻る 	25 26
入力1のマックス 値設定(212F) (⁶)	SET DISPLAY を同時に3秒以上押す→RESET/SHIFT を押す→ (211b) (212F) + 一でマックス値を設定する→SET を押す→設定したマックス値が登録される→ DISPLAY を押す→表示モードに戻る	25 26
入力1の小数点位 置設定(213P) (⁶)	SET DISPLAY を同時に3秒以上押す→RESET/SHIFT を押す→RESET/SHIFT を押す→ (211b) (212F) (213P) + 一で小数点位置を設定する→SET を押す→設定した小数点位置が登録される→ DISPLAY を押す→表示モードに戻る	25 26
入力 1 の COS 学 、 Hz、var 設定 (214)	SET DISPLAY を同時に3秒以上押す→RESET/SHIFT を押す→RESET/SHIFT を押す→ (211b) (212F) (213P) RESET/SHIFT を押す→ - でCOS♥, Hz, var を選ぶ→SET を押す→ (214) (214) 選んだ COS♥, Hz, var が登録される→DISPLAY を押す→表示モードに戻る	25 26

注(⁶)入力1のCOS(P, Hz, var 表示(214)設定しているとき、入力1のバイアス値、マックス値、少数点位置設定 (211b~213P)は除外されます。

6.4 計測表示モード詳細説明

■ 本器に電源を入れますと、計測表示モードになります。



■ 計測表示モードからのスイッチ操作



- 注(⁷)「DISPLAY スイッチ機能入れ替え設定」にて、+:バーグラフ表示切替、DISPLAY:最大値・最小値表示切替に 設定した場合、DISPLAYを押すと、最大値・最小値が表示します。
- ・ SET スイッチを3秒押し続けることで、設定モード1になります。⇒ 18ページ
- ・SET スイッチとDISPLAY スイッチを同時に3秒以上押し続けることで、設定モード2になります。⇒ 24ページ

<注意>入力回路数又は計測表示 0N/0FF 設定により、除外される表示項目があります。

- ・入力1回路仕様の場合、入力2、入力3の表示項目はありません。
- ・入力2回路仕様の場合、入力3の表示項目はありません。
- ・全て計測表示を OFF にした場合、全ての計測値は表示しませんので、ご注意ください。

■ 計測表示モードからの操作

(1) フリッカ値表示

入力要素のフリッカ値の確認ができます。



(2) 最大值·最小值表示

入力要素の最大値・最小値の確認ができます。最大値・最小値は、電源を切ってもその値は保持されます。



(3) 最大値・最小値リセット

入力要素の最大値・最小保持値がリセットできます。





6.5 設定詳細説明

6.5.1 設定モード1



SET スイッチを3秒以上連続で押すと、表示モードから設定モード1になります。 設定項目の移動はRESET/SHIFT スイッチと十スイッチ、又はRESET/SHIFT スイッチと一スイッチで行います。 DISPLAY スイッチを押すと表示モードに戻ります。

設定中に+, -スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、現在設定している値だけが初期設定値に戻ります。

<注意>入力回路数又は計測表示 ON/OFF 設定により、除外される設定項目があります。

- ・入力1回路仕様の場合、入力2,入力3の設定項目はありません。
- ・入力2回路仕様の場合、入力3の設定項目はありません。

・全て計測表示を OFF にした場合、設定モード1 になりませんので、ご注意ください。

注(10) 白色バックライト仕様のみ設定可能です。

(1) 表示組合せ、単位表示設定(設定No. 111~115) 表示組合せ及び入力要素の単位表示の設定ができます。また、INPUT表示の消灯も設定できます。

			RESET/SHIFT			
設定手順	111 表示組合・ 1:パターン + 2:パターン + 5:パターン + 6:パターン 詳細は表示組合 表をご参照くだ	RESET/ HIFT A力 1 の単位表示 0:表示なし + - - - - - - - - - - - - -	RESET/ SHIFT A 2 の単位表示 0:表示なし ・ ・ ・ を示組合せにより単位表示の設定 は単位表示一覧をご参照ください	RESET/ SHIFT 入力3の単位表示 SHIFT INPUT表示 0N/OFF 0:表示なし 0N 0:表示なし 0N 0:表示なし 0N 0FF 範囲が異なります。 の の の の の の の の の の の の の		
	設定No.	設定内	容	設定値可能範囲		
	111	表示組合せ設定		パターン1~6		
	112	入力1の単位表示設定	パターン1,2	0~17 (主監視)		
			パターン3~6	0~12 (副監視)		
設定項目	113	入力2の単位表示設定	バターン 3,4	0~17 (土監倪)		
			パターン 5.6	$0 \sim 12$ (副監倪) $0 \sim 17$ (主監祖)		
	114	入力3の単位表示設定	パターン1~4	$0 \sim 12$ (副監視)		
	115	INPUT 表示 ON/OFF 設定	, , , , ,	ON/OFF		
設定方法	設定表示	SET スイッチを3秒以上: RESET/SHIFT スイッチと せ、単位表示設定の項目 RESET/SHIFT スイッチを: INPUT 表示 ON/OFF 設定は ます。 設定モード2の表示スケーの単位表示設定(112~1	 連続で押すと、計測表 +スイッチ又はRESET, に移動します。 押す度に、設定項目が、 パターン1のみ有効 ーリング設定にて、CO 14)は除外されます。 チを囲まと認定値がか 	示モードから設定モード1になります。 /SHIFT スイッチと スイッチにて表示組 切替ります。 っです。パターン1以外では、設定は除外 のです。パターン1以外では、設定は除外 のです。ポターン1以外では、設定は除外	l合 され 軽素	
			フを押りと設定値が後	受します。		
	設定値更新	SET スイッチを押すと設	定値が更新します。			
	初期設定値 に戻す	設定中に+スイッチと- が初期設定値に戻ります。	スイッチを同時に 3 利 。	り以上連続で押すと、現在設定している値の	のみ	
復帰方法	DISPLAYスイ	ッチを押すか、又は10分	間無操作で計測表示モ	ードに戻ります。		



(2) フリッカ設定(設定No. 121H~129)

入力要素のフリッカの上限・下限設定と ON/OFF 設定ができます。

ただし、上限値と下限値の設定は、上限値>下限値の範囲での設定になります。

		RESET/SHIFT —							
	121H	122L DEGET (123	124H~126 127H~129						
	→ 入力1の	$\begin{array}{c c} & RESET \\ \hline SHIFT \end{array} & \lambda J 1 0 \\ \hline SHIFT \end{array} & RESET \\ \hline SHIFT \end{array} & \lambda J 1 0 \\ \hline SHIFT \end{array}$	入力2の 入力3の						
	上限ノリツハ								
	Л	124H 127H 同様 125L 128L 同様 126 129 F							
			· 124H · 127H						
	xx x 5 07 20	N OFF OFF	• 125L • 128L						
	+ -	$ +$ $ $ \uparrow \uparrow	• 126 • 129						
設定手順	スパンの 0	% スパンの-20% ↓	(121H~123 同様) (121H~123 同様)						
	+ .								
	スパンの10								
		No. 1000 初期設定値							
	+								
	スパンの 12	1% スパンの100%							
	+								
	0FF	 スパンの 120%							
			乳宁店司約签用						
	121H	入力1の上限ノリツル設定	表示スパンの-20%~120%、OFF(*) まデスパンの-20%~120%、OFF(*)						
	122L 192		☆パハハマリー20%、120%、0FF() 0N/0EE						
	123	入力1のノリッカのVOFF設定 入力2の上限フリッカ設定	ON/OFF 事示スパンの-200/~1200/ OFF (11)						
設定項目	12411	入力なの工限フリック設定	表示スパンの-20%~120%、0FF() ま示スパンの-20%~120% 0FF(¹¹)						
	125L 126		0N/0FF						
	120 197H	入力3のト限フリッカ設定	あ示スパンの-20%~120% OFF (¹¹)						
	12711	入力3の下限フリッカ設定	表示スパンの $-20\% \sim 120\%$ OFF (¹¹)						
	1201	入力3のフリッカ 0N/0FF 設定	ON/OFF						
	120		まそエードから記会エード1になります						
	設定表示	[KESE1/SHIFT] スイッナと[+]スイッナスは[KESET/SHIFT] スイッチと[-]スイッチにてフリッカ 記点の原見に復新します。[DEOPT/OUTP] スノーズませた際に記点で見いませいとし							
		設定の項目に移動します。[RESET/SHIFT]スイッチを押す度に設定項目が切替ります。							
		+スイッチ又は-スイッチを押すと設定値が	変更できます。+又は-スイッチを押し続け						
		ることにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。							
		上限フリッカ設定にて、120%を超える設定にすると、検出機能は除外されます。							
	設定値変更	(OFF, ▲は消えます)							
設定方法	政定直及大	下限フリッカ設定にて、-20%を超える設定にすると、検出機能は除外されます。							
		(OFF, ▲は消えます)							
		注(11) COSP表示設定しているとき、設定値可	能範囲は表示スパンの 0%~100%, 0FF と						
		なります。							
	設定値更新	SETスイッチを押すと設定値が更新します。							
	如期到空荷	設定中に+スイッチと-スイッチを同時に35	秒以上連続で押すと、現在設定している値のみ						
	初期設定値	が初期設定値に戻ります。							
	(C)天 9	ただし、上限フリッカ値と下限フリッカ値は同	両方共初期設定値に戻ります。						
復帰方法	DISPLAY スイ	ッチを押すか、又は10分無操作で計測表示モ	ードに戻ります。						
	 ・入力1の上 		値設定 ・入力1のフリッカ ON/OFF 設定						
	⇒n, c⇒n τE								
	設定No. 5	仕設定 設定指標 設定No. 新設定 :	現任設 設正No. 新設正 現任設正						
	va .	50 H H	50 \\ \40 \\ 60 \\						
画面表示	20 / / 13								
	1/"								
	{{								
	//		// \\ F on //						
	新設定	、 設定指標							

(3) DISPLAY スイッチ機能入れ替え設定(設定No. 131) DISPLAY スイッチと+スイッチ機能を入れ替えることができます。

	設定No. 131								
設定手順	DISPLAY + :	0 + 0 + :バーグラフ表示切替 + 最大値・最小値切替 + - -	< 初期設定値						
机合适口	設定No.	設定内容	設定値可能範囲						
設正項日	131	DISPLAY スイッチと+スイッチの機能入れ替え	0, 1						
	設定表示	SET スイッチを3秒以上連続で押すと、計測表示モードな RESET/SHIFT スイッチと十スイッチ又はRESET/SHIFT スイ スイッチ機能入れ替え設定の項目に移動します。	いら設定モード 1 になります。 イッチと―スイッチにてDISPLAY						
設定方法	設定値変更	+スイッチ又は-スイッチを押すと設定値が変更します。							
	設定値更新	SETスイッチを押すと設定値が更新します。							
	初期設定値 に戻す	設定中に十スイッチとスイッチを同時に3秒以上連続 初期設定値に戻ります。	で押すと、現在設定している値が						
復帰方法	DISPLAY スイ	ッチを押すか、又は10分間無操作で計測表示モードに戻	ります。						
画面表示	・DISPLAY スー 設定No.	イッチ機能入れ替え設定 現在設定 新設定							

(4) バックライト設定(設定No. 151~152) 【白色バックライト時】 バックライトの動作及び明るさについて設定を行います。 バックライト設定は白色バックライト仕様のみ設定可能です。

	◆ 151 バックライト動作							
	KESEI/Shiffi バックライトの動作について、AUTO(自動消灯)、							
	L→ 151 LEEET/→ 152 LEEET/→ 152 LEEET/→ 0FF (常時消灯)、0N (常時点灯)から選択するこ							
	「バックライト動作」 SHIFT 「バックライト明るさ」 とができます。							
	└────────────────────────────────────							
	AUTO(自動消灯) 0.1 0.1 0.1 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2							
	+ OFF(常時消灯) = 2 ◆ 152 バックライト明るさ							
設定手順								
	ON(常時点灯) + 3 - "1"に設定した場合、バックライトが最も暗く、							
	▲ 「5"に設定した場合は、バックライトが最も明る							
	▼ ↓ くなります。日 □で選択し、SET で設定値が更							
	$\begin{array}{c c} & & \\ & & & \\ & & \\ & & & \\ & & \\ & & & \\ & & & \\ & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\$							
	5 りるい							
	3							
	2							
	1 暗い							
	設定No. 設定内容 設定値可能範囲							
設定項目	151バックライト動作AUTO (自動消灯), 0FF (常時消灯), 0N (常時点灯)							
	152 バックライト明るさ 1, 2, 3, 4, 5							
	SET スイッチを3秒以上連続で押すと、計測表示モードから設定モード1になります。							
	RESET/SHIFT スイッチと+スイッチ又はRESET/SHIFT スイッチと-スイッチにてバックラ							
	設定表示 【 【] [] [] []] [] []] []] []] []] []] []] []] []] []] []] []] []] []] []] []]] []] []]] []] [] _]							
	RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替ります。							
設定方法								
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							
	設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。							
	初期設定値 設定中に+スイッチと-スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、現在設定している値が							
	に戻す 初期設定値に戻ります。							
復帰方法	DISPLAY スイッチを押すか、又は10分間無操作で計測表示モードに戻ります。							
	取止100.							
	日本設定							
画面表示								
	新設定							
	III \\ Rutok II							

6.5.2 設定モード2



SET スイッチとDISPLAY スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、表示モードから設定モード2になります。 設定項目の移動はRESET/SHIFT スイッチと十スイッチ、又はRESET/SHIFT スイッチと一スイッチで行います。 DISPLAY スイッチを押すと表示モードに戻ります。

設定中に +, |-| スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、現在設定している値だけが初期設定値に戻ります。

<注意>入力回路数又は計測表示 ON/OFF 設定により、除外される設定項目があります。

- ・入力1回路仕様の場合、入力2,入力3の設定項目はありません。
- ・入力2回路仕様の場合、入力3の設定項目はありません。
- ・全て計測表示を OFF にした場合、設定モード 2 の「計測表示 ON/OFF 設定」と「初期設定値に戻る」のみ 設定可能となりますのでご注意ください。

注(12) アナログ出力が無い場合、出力設定はありません。

(1)表示スケーリング設定(設定No. 211b~21C) 入力要素の表示値のスケーリング設定ができます。 ただし、バイアス値とマックス値の設定は、バイアス値<マックス値の範囲での設定になります。

認定手順 10000 10000000000000000000000000000000	設定手根 第二、2017 第四十、100 100			RESET/S	SHIFT						
$ \begin{split} \mathfrak{X}\mathfrak{C}\mathfrak{T}\mathfrak{H} \\ \mathfrak{X}\mathfrak{C}\mathfrak{T} \\ \mathfrak{X}\mathfrak{T} \\ \mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \mathfrak{K} \\\mathfrak{K} \\\mathfrak{K} K$	ポロデート ボック・ ボッ ボック ボッグ ボッグ ボック ボック ボック ボック ボック ボック ボック ボッグ ボッグ ボッグ ボッグ ボッグ ボッグ ボック ボッグ		211b 入力1の バイアス値	RESET/ SHIFT→ スカ1の マックス値 RESET/→ SHIFT→ スカ1 小数	P 1 の 点 RESET/ SHIFT RESET/ SHIFT 214 入力 1 の COS 9, Hz, var 表示 COS 9, Hz, var 表示						
$ \begin{split} \vec{x} \vec{x} \vec{r} \vec{q} \vec{l} \\ \vec{k} \vec{r} \vec{r} \vec{q} \\ \vec{k} \vec{r} \vec{r} \vec{r} \\ \vec{k} \vec{r} \vec{r} \vec{r} \\ \vec{k} \vec{r} \vec{r} \\ \vec{k} \\ \vec{k} \vec{r} \\ \vec{k} \\ \vec{k} \vec{r} \\ \vec{k} \\ \vec{k} \\ \vec{k} \vec{r} \\ \vec{k} \\ \vec{k}$	$ \frac{1}{216} = \frac{1}{216} + 1$		$\int_{2} \left(\frac{2}{2} \right)^{2}$	15b 19b 同様 】 【216F 21AF 同様 】	$ \begin{array}{c} 17b \\ 21bP \ \square \ \blacksquare \end{array} \qquad \qquad$						
設定手順 1 <th1< th=""> <th1< th=""> <th1< th=""> <th1< th=""></th1<></th1<></th1<></th1<>	設定手順		-9999 + + V 0.0		$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $						
設定項目 設定 設定内容 設定向下 法 1 <th1< th=""> 1 1 <</th1<>	$ \frac{1}{216^{\circ}} \frac{1}{\sqrt{1}} \frac{1}{$	設定手順	+ - - $+$ - 9998	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	+ - ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓						
設定功応 設立内容 設立内容 設立値面可能範囲 211b 人力1の表示シイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、L&D 9999~1) 212F 入力1の表示シイアス値設定 -9999~9999 (var 設定時、L&D 9999~1) 212F 入力1の表示シックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、L&D 1~9999) 213P 人力1の表示シックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、L&D 1~9999) 214 人力1の表示シックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、L&D 1~9999) 214 人力1の表示シックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、L&D 1~9999) 216F 人力2の表示シックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LED 9999~1) 216F 人力2の表示シックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LED 9999~1) 218F 入力3の表示シックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LED 9999~1) 218F 人力3の表示シックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LED 10999) 218F 人力3ののSディックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LED 9999~1) 218F 人力3ののSディックテを提定 -9998~9999 (var 設定時、LED 9999~1) 218F 人力3ののSディックテを目していて -9998~9999 (var 設定時にとの 5~0~0~0~0	$ \exists x \exists x h = 1 \\ x h = 1 \\ \exists x h = 1 \\ x h =$										
設定功品 設定内容 設定値可能範囲 211b 入力1の表示マクス値設定 -9999~9998 (var 設定値可能範囲) 2127 入力1の表示マクス値設定 -9999~99998 (var 設定値可能範囲) 2128 入力1の表示マクス値設定 -9999~99999 (var 設定範, LED) 9999~1) 2127 入力1の表示マクス値設定 -9998~9999 (var 設定範, LED) 9999~1) 2138 入力1の表示小数点設定 -9998~9999 (var 設定範, LAD) ~2099) 214 入力1の表示小数点設定 -9999~9998 (var 設定範, LAD) ~2010 215 入力2の表示小気の変元 -9999~9998 (var 設定範, LAD) ~2010 2167 入力2の表示小数点設定 -9999~9998 (var 設定範, LAD) ~2010 2177 入力2の表示小数点設定 -9999~9998 (var 設定範, LED) 9999~1) 2167 入力2の表示小数点設定 -9999~9998 (var 設定範, LAD) ~2010 2179 入力2の表示小気点設定 -9999~9998 (var 設定範, LAD) ~2010 218 入力3の表示小気の表示小気点設定 -9999~9998 (var 設定師, LAD) ~9999) 2119 入力3の表示小気点設定 -9999~9998 (var 設定師, LAD) ~9999) 2110 入力3の表示小支援定 -9999~9998 (var 設定時, LAD) ~90+LAD) 2111 スイッ											
Bits Bits <t< td=""><td>設定加 設定内容 設定値可能範囲 211b 入力1の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 212F 入力1の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 212F 入力1の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 212F 入力1の表示バタな息設定 小数点なしへ小数点3 桁 212F 入力1の表示バタス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 213F 入力2の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 214 入力10005, llz, var 表示設定 -Var 1 LEAD -0~LAG [CI CI 211b~213F CT 設定) 74 ソカ 2の表示バタクス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 216F 入力 2の表示バタクス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 217F 入力 2の表示バタス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 入力 2の 2表示バタス値設定 -10898 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 入力 2 の 2表示バイアス値設定 -0999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 入力 3 の表示バイアス値設定 -10898 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 入力 3 の表示バイアス値定 -9998~9999 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 入力 3 のでの, llz, var 表示設定 -9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 人力 3 の表示バイアン値定 -9998 (var 設定時, LEAD 100~1) </td></t<> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4:周波数 55~65Hz </td>	設定加 設定内容 設定値可能範囲 211b 入力1の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 212F 入力1の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 212F 入力1の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 212F 入力1の表示バタな息設定 小数点なしへ小数点3 桁 212F 入力1の表示バタス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 213F 入力2の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 214 入力10005, llz, var 表示設定 -Var 1 LEAD -0~LAG [CI CI 211b~213F CT 設定) 74 ソカ 2の表示バタクス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 216F 入力 2の表示バタクス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 217F 入力 2の表示バタス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 入力 2の 2表示バタス値設定 -10898 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 入力 2 の 2表示バイアス値設定 -0999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 入力 3 の表示バイアス値設定 -10898 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 入力 3 の表示バイアス値定 -9998~9999 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 入力 3 のでの, llz, var 表示設定 -9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 218 人力 3 の表示バイアン値定 -9998 (var 設定時, LEAD 100~1)				4:周波数 55~65Hz 						
設定功応 設定内容 設定値可能範囲 211b 入力 1 の表示パイアス値設定 -9999~9995 (var 設定時、LEAD 9999~1) 212F 入力 1 の表示パダス値設定 -9999~9995 (var 設定時、LEAD 9999~1) 212F 入力 1 の表示パダス値設定 -9998~0999 (var 設定時、LEAD 9999~1) 212F 入力 1 の表示パダス値設定 -9998~0999 (var 設定時、LAG 1~9999) 213P 入力 1 の表示パダス値設定 -9998~0999 (var 設定時、LAG 1~9999) 214 入力 1 のの気デパダス値設定 -9998~0999 (var 設定時、LAG 1~9999) 216 入力 2 の表示パダアス値設定 -9998~09998 (var 設定時、LAG 1~9999) 216F 入力 2 の表示小数点 認定 -9998~09998 (var 設定時、LAG 1~9999) 216F 入力 2 の表示小数点 認定 -9998~09998 (var 設定時、LAG 1~9999) 217P 入力 2 の表示小数点 認定 -9998~09998 (var 設定時、LAG 1~9999) 218 入力 2 の表示小女点 表示 -0998~09998 (var 設定時、LAG 1~9999) 218 入力 3 の表示マクス値設定 -9998~09998 (var 設定時、LAG 1~9999) 214F 入力 3 の表示マクス 総設定 -9998~09998 (var 設定時、LAG 1~9999) 214F 入力 3 の表示マクス 総設定 -055 c-6512, 45 c-6512 218 入力 3 の表示マクス 総設定 -0999 -9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 214F 入力 3 の表示マクス 公 -9998 -99999 (var 設定時、LAG 1~9599) <td>$\frac{1}{210} + \frac{1}{200} + \frac{1}{200} + \frac{1}{210} + \frac{1}{210} + \frac{1}{200} + 1$</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>↓ 5:周波数 45~65Hz ↓</td>	$ \frac{1}{210} + \frac{1}{200} + \frac{1}{200} + \frac{1}{210} + \frac{1}{210} + \frac{1}{200} + 1$				↓ 5:周波数 45~65Hz ↓						
設定Na 設定内容 設定値可能範囲 211b 入力 1 の表示ベイアス値設定 -9998~9998 (var 設定時、LAG 1 >9999~1) 212F 入力 1 の表示ベックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1 ~9999) 213P 入力 1 の表示ベックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1 ~9999) 213P 入力 1 のの表示ベックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1 ~9999) 214 入力 1 の COSP, Hz, var 表示設定 -058 (z. 55~65Hz, 45~65Hz, 45~65Hz) 215 入力 2 の表示ベイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 216F 入力 2 の表示小数点設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 217P 入力 2 の表示小数点設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 218 入力 2 の表示小数点設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 218 入力 3 の表示ベックス値設定 -9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 214F 入力 3 の表示ベックス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 214F 入力 3 の表示ベイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 214F 入力 3 の表示ベイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 214F 入力 3 のの表示ベイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 214F 入力 3 のの表示ベイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 216 入力 3 の cosP, Hz, var 表示設定 -V本 S 564z, 45~	設定内容 設定値可能範囲 211b 入力10表示パイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 212F 入力10表示パクス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 9999~1) 213P 人力10表示小数点設定 小数点なし~小数点3桁 214 入力100表示パクス値設定 -9998~9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 214 入力100素示パクス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LGD 10~9999) 215b 入力20表示パイアス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 9999~1) 216F 入力20表示パクス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 9999~1) 217P 入力20表示パクス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 9999~1) 216F 入力20支示パタクス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 9999~1) 217P 入力30表示パクス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 9999~1) 217P 入力30支示パイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 217P 入力30支示パイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 218 入力30支示パイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 214F 入力30支示パクシクス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 214F 入力30支行が数点設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 9999~1) 214F 入力30支行が数点設定 -955612.55 211F 入力30支空(SPLA) -9598				+ - ↓ 6:無効電力 LEAD□~0~LAG□ ↓						
設定病法 211b 入力1の表示パイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 212F 入力1の表示マックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 1~9999) 213P 入力1の表示小数点設定 小数点なし~小数点3 布 214 入力100表示小数点設定 小数点なし~小数点3 布 214 入力1005%, Hz, var 表示設定 HZ 215b 入力20表示パイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 10~01.61 (L2 211b~213P IC 213P IC	211b 入力1の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 212F 入力1の表示、ックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 213P 入力1の表示、物点設定 小数点なし~小数点3桁 214 入力100% (var 設定時、LAG 1~9999) 214 入力100% (var 設定時、LAG 1~9999) 214 入力100% (var 設定時、LAG 1~9999) 215 入力20表示パイアス値設定 -9998~9098 216F 入力20表示パイアス値設定 -9998~9099 217P 入力20表示小数点設定 -9998~9099 218 入力20表示小数点設定 -9998~9099 218 入力20表示小数点設定 -9998~9099 219 入力30表示パイアス値設定 -9999~908 219 入力3の表示パクス値設定 -9999~9098 218 入力30表示パイアス値設定 -9999~9098 214F 入力3の表示パクス値設定 -9999~9099 214F 入力3の表示で少ス値設定 -9999~9099 214F 入力300表示小な点数 -9999~9099 214F 入力300表示パイアス値設定 -9999~9099 214F 入力300C05 Hz, var 表示設定 216 入力300C05 Hz, var 支定位<		設定No.	設定内容	設定値可能範囲						
設定方法 212F 入力1の表示マックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 213P 入力1の表示小数点設定 小数点なし~小数点3桁 214 入力1のの気小数点設定 小数点なし~小数点3桁 214 入力2の表示パイアス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 215b 入力2の表示パイアス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 9999~1) 2166 入力2の表示パイアス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 217P 入力2の表示パイアス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 218 入力2の表示パマックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 218 入力2のCOSP, Hz, var 表示設定 小数点なし~小数点3 桁 219b 入力3の表示小数点設定 小数点なし~小数点3 桁 219b 入力3の表示小数点設定 小数点なし~小数点3 46 210F 入力3の表示小数点設定 -9999~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 21b 入力3の表示小数点設定 -9999~9999 (var 設定時、LGA 1~9999) 21b 入力3のの表示小数点設定 -9998~9999 (var 設定時、LGA 1~9999) 21c 入力3のののSデ, Hz, var 表示設定 -9098~9999 (var 設定時にしてしてしてしてししてししたの217P にて設定) 21c 入力3のののSデ, Hz, var 表示設定 -9098~9999 (var 設定時にしてしてししてしししてししたの217P にて設定) 21c 入力3ののCSP, Hz, var 表示設定 -9098~9999 (var 設定時に上4A 5~65Hz	$212F$ $\lambda f_1 0 a = \sqrt{2} \sqrt{2} d = 1998 - 9999 (var B = t = 0.6 \ A = 0.6$		211b	入力1の表示バイアス値設定	-9999~9998(var 設定時、LEAD 9999~1)						
設定方法 213P 入力1の表示小数点設定 小数点なし~小数点3桁 214 入力1の0CSP,Hz,var 表示設定 $(0SP: 0.5 \sim 1 \sim 0.5, 0 \sim 1 \sim 0.6)$ $(0SP: 0.5 \sim 1 \sim 0.5, 0 \sim 1 \sim 0.6)$ 214 入力100CSP,Hz,var 表示設定 Hz : $45 \sim 55Hz$, $45 \sim 65Hz$ Hz : $45 \sim 55Hz$, $45 \sim 65Hz$ 215b 入力2の表示パイアス値設定 $-9999 \sim 9998$ (var 設定時,LEAD 9999 $\sim 1)$ 216F 入力2の表示小数点設定 $-9998 \sim 9999$ (var 設定時,LGA $\sim 9999)$ 217P 入力2の表示小数点設定 $-9998 \sim 9999$ (var 設定時,LGA $\sim 9999)$ 218 入力3 の表示パイアス値設定 $-9998 \sim 9999$ (var 設定時,LGA $\sim 9999)$ 219b 入力3 の表示パイアス値設定 $-99999 = 9998$ (var 設定時,LGA $\sim 9999)$ 210F 入力3 の表示パイアス値設定 $-99999 = 9998$ (var 設定時,LGA $\sim 9999)$ 211F 入力3 の表示パイアス値設定 $-9999 = 9998 = 9999$ (var 設定時,LGA $\sim 9999)$ 211F 入力3 の表示パイアス値設定 $-9999 = 9998 = 9999$ (var 設定時,LGA $\sim 9999 = 10$) 211F 入力3 on cosP,Hz,var 表示設定 $-9998 \sim 9999$ (var 設定時,LGA $\sim 1 \sim 9999 = 10$) 211F 入力3 on cosP,Hz,var 表示設定 $-9998 \sim 9999$ (var 設定時,LGA $\sim 1 \sim 9999 > 10$) 211F 入力3 on cosP,Hz,var 表示設定 $-9998 \sim 9999$ (var 設定時,LGA $\sim 1 \sim 9999 > 10$) 2121F 入力3 on cosP,Hz,var 表示設定 <td< td=""><td>設定方法 213P 入力1の表示小数点設定 小数点なし〜小数点3 桁 214 入力1005%, Hz, var 表示設定 COS $?$: 0.5 \sim1 \sim0.5 \sim0 \sim1 \sim0.6 214 入力10005%, Hz, var 表示設定 Hz: 148 \sim55Hz, 55 \sim65Hz, 45 \sim65Hz 215b 入力20表示パイブス値設定 -9999 \sim9998 (var 設定時, LAG 1 \sim9999) 216F 入力20表示小数点設定 -9998 \sim9999 (var 設定時, LAG 1 \sim9999) 217P 入力20表示小数点設定 /小数点なし\sim1\sim45 \sim55Hz, 45 \sim65Hz 218 入力20000%, Hz, var 表示設定 /小数点なし\sim1\sim45 \sim55Hz, 45 \sim65Hz 219b 入力300表示パイブス値設定 -9999 \sim9999 (var 設定時, LAG 1 \sim9999) 210 入力300表示パイブス値設定 -9998 \sim9998 (var 設定時, LAG 1 \sim9999) 211P 入力300表示パイプス値設定 -9998 \sim9998 (var 設定時, LAG 1 \sim9999) 211P 入力300表示パイプス値設定 -9998 \sim9998 (var 設定時, LAG 1 \sim9999) 211P 入力300表示小数点設定 /小数点なし \sim1\sim0 \sim1\sim1 211P 入力300表示 \sim0 \sim10 Hz 211P 入力300表示 \sim2\sim2\sim1\sim2\sim5\sim0 \sim1 \sim0 211P 入力3000000%, Hz, var 表示設定 -09990 211P 入力300000%, Hz, var 表示設定 (COS \sim1 \sim0.5 \sim1\sim0 121C 入力300000%, Hz, var 表示設定</td><td></td><td>212F</td><td>入力1の表示マックス値設定</td><td>-9998~9999(var 設定時、LAG 1~9999)</td></td<>	設定方法 213P 入力1の表示小数点設定 小数点なし〜小数点3 桁 214 入力1005%, Hz, var 表示設定 COS $?$: 0.5 \sim 1 \sim 0.5 \sim 0 \sim 1 \sim 0.6 214 入力10005%, Hz, var 表示設定 Hz: 148 \sim 55Hz, 55 \sim 65Hz, 45 \sim 65Hz 215b 入力20表示パイブス値設定 -9999 \sim 9998 (var 設定時, LAG 1 \sim 9999) 216F 入力20表示小数点設定 -9998 \sim 9999 (var 設定時, LAG 1 \sim 9999) 217P 入力20表示小数点設定 /小数点なし \sim 1 \sim 45 \sim 55Hz, 45 \sim 65Hz 218 入力20000%, Hz, var 表示設定 /小数点なし \sim 1 \sim 45 \sim 55Hz, 45 \sim 65Hz 219b 入力300表示パイブス値設定 -9999 \sim 9999 (var 設定時, LAG 1 \sim 9999) 210 入力300表示パイブス値設定 -9998 \sim 9998 (var 設定時, LAG 1 \sim 9999) 211P 入力300表示パイプス値設定 -9998 \sim 9998 (var 設定時, LAG 1 \sim 9999) 211P 入力300表示パイプス値設定 -9998 \sim 9998 (var 設定時, LAG 1 \sim 9999) 211P 入力300表示小数点設定 /小数点なし \sim 1 \sim 0 \sim 1 \sim 1 211P 入力300表示 \sim 0 \sim 10 Hz 211P 入力300表示 \sim 2 \sim 2 \sim 1 \sim 2 \sim 5 \sim 0 \sim 1 \sim 0 211P 入力3000000%, Hz, var 表示設定 -09990 211P 入力300000%, Hz, var 表示設定 (COS \sim 1 \sim 0.5 \sim 1 \sim 0 121C 入力300000%, Hz, var 表示設定		212F	入力1の表示マックス値設定	-9998~9999(var 設定時、LAG 1~9999)						
設定項目 214 入力 1 の $\cos \mathbf{P}$, Hz, var 表示設定 $\cos \mathbf{P}$ (CSS* : 0.5~1~0.5, 0~1~0. 12 215b 入力 2 の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 216F 入力 2 の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 9999) 216F 入力 2 の表示小数点設定 小数点なし~小数点 3 桁 217P 入力 2 の表示小数点設定 小数点なし~小数点 3 桁 218 入力 2 の $\cos \mathbf{P}$, Hz, var 表示設定 COSP*: 0.5~1~0.5, 0~1~0 14 : 45~55Hz, 55~65Hz, 45~65Hz 150 入力 3 の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 218 入力 3 の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 214F 入力 3 の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 214F 入力 3 の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 214F 入力 3 の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 214F 入力 3 の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 1~90~10 214F 入力 3 の スティック る 値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 1~90~10 214F 入力 3 の COSP, Hz, var 表示設定 小数点なし ~小数点なし ~小数点なし ~小数点なし ~小数点 216 入力 3 の COSP, Hz, var 表示設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 1~9999) 216 入力 3 の COSP, Hz, var 表示	設定項目 214 入力1000SP, Hz, var 表示設定 C0SP: $0.5 \sim 1-0.05$, $0.0-1-0$ 1214 入力1000SP, Hz, var 表示設定 Hz: $45 \sim 55Hz$, $45 \sim 65Hz$ Hz: $45 \sim 65Hz$, $45 \sim 65Hz$ 215b 入力20表示ベイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LGA 1~9999) 216F 入力20表示ベイアス値設定 -9998~9999 (var 設定時, LGA 1~9999) 217P 入力20表示小数点設定 小数点なし~小数点3 218 入力200SP, Hz, var 表示設定 HZ: $45 \sim 55Hz$, $45 \sim 65Hz$ 219b 入力30表示ベイアス値設定 -9999~9999 (var 設定時, LGA 1~9999) 214F 入力30表示ベイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LGA 1~9999) 214F 入力30表示ベイアス値設定 -99998~9999 (var 設定時, LGA 1~9999) 214F 入力30表示ベイアス値設定 -99998~9999 (var 設定時, LGA 1~9999) 214F 入力30の表示ベックス値設定 -99998~9999 (var 設定時, LGA 1~9999) 214F 入力300表示ベックス値設定 -99998~9999 (var 設定時, LGA 1~9999) 214F 入力300表示ベックス値設定 -99998~9999 (var 設定時, LGA 1~9999) 214F 入力300表示ベックス値設定 -9999~910 214F 入力300表示ベックス値 -9999~910 214F 入力300 -9999~910 214F 人力300表示ベックン運動 -9999		213P	入力1の表示小数点設定	小数点なし~小数点3桁						
設定項目 Note (Click Construction of the click Constructing click Construction of the click Construction of t	設定項目 111<		214	入力1の COS♥, Hz, var 表示設定	COS Y : 0.5~1~0.5, 0~1~0 Hz : 45~55Hz, 55~65Hz, 45~65Hz Var : LFADD~0~14C口 (口は 211b~213P にて設定)						
設定項目 105 日のまた、中国数化 105 日の数化 105 日の数 105 日の数化 105 日の数化 105 日の数化 105 日の数化 105 日の数 105 日の 105 100 100 100 100 100 100 100 100 100	設定項目 2106 人力 2 の表示マック X 値設定 9998 ~ 9999 (var 設定時、LAG 1 ~ 9999) 217P 入力 2 の表示マック X 値設定 小数点なし~小数点 3 桁 218 入力 2 のの気が, Hz, var 表示設定 小数点なし~小数点 3 桁 218 入力 2 のの気が, Hz, var 表示設定 Uar 設定時、LAG 1 ~ 9999) 218 入力 2 の COS [®] , Hz, var 表示設定 Uar Etable ~ 0~~LAGE 219b 入力 3 の表示ベイアス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 21AF 入力 3 の表示ベダックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 21bP 入力 3 の表示ベダックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 21c 入力 3 の表示ベサシクス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 21c 入力 3 のののでの -9028 21c 入力 3 ののでの -9098 21c 入力 3 ののでの -9059 21c 入力 3 の たびを見たした -9052 21c 大力 3 の たびを見たした -9052 21c 大力 9 大 95 -905512, 55~6512, 45~6512		215b	入力2の表示バイアス値設定	-9999~9998 (var 設定時 LEAD 9999~1)						
設定項目 217P 入力 2 の表示小数点設定 小数点なし~小数点 3 桁 218 入力 2 の COS♥, Hz, var 表示設定 小数点なし~小数点 3 桁 218 入力 2 の COS♥, Hz, var 表示設定 COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 219b 入力 3 の表示ベイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 21AF 入力 3 の表示ベックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 21bP 入力 3 の表示小数点設定 小数点なし~小数点 3 桁 21C 入力 3 のの表示、数点設定 小数点なし~小数点 3 桁 21C 入力 3 のCOS♥, Hz, var 表示設定 COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 21C 入力 3 のCOS♥, Hz, var 表示設定 COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 21C 入力 3 のCOS♥, Hz, var 表示設定 COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 21C 入力 3 のCOS♥, Hz, var 表示設定 COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 12: 45~55Hz, 55~65Hz, 45~65Hz 45~65Hz Var : LEAD□~0~LAG□ (□Ld 219b~21bP にて設定) 2ET スイッチと[DISPLAY] 2AT ッチンと[DISPLAY] スイッチをを同時に 3 秒以上連続で押すと、計画スイッチン目にて設定) 設定表示 EET] スイッチを加すた変示スケーリング設定の項目に移動します。 RESET/SHIFT] スイッチを加すた設定(COS♥) ストリング設定(C COS♥) 設定値変更 EET] アイッチを押すと設定値がの変更できます。[H_2(H_= スイッチを押しんがら]] 設定値変更 E	設定項目 217P 入力2の表示小数点設定 小数点なし〜小数点3 桁 218 入力2のCOS♥, Hz, var 表示設定 COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 HZ 45~65Hz, 45~65Hz HZ 219b 入力3の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 9~00~LAGC) CDI は 215b~217P にて設定) 214F 入力3の表示マックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 1~9999) 10 21bP 入力3の表示小数点設定 小数点なし~小数点 3 桁 COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 HZ 21c 入力3の表示小数点設定 小数点なし~小数点 3 桁 COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 HZ 21c 入力3のでのS♥, Hz, var 表示設定 小数点なし~小数点 3 桁 COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 HZ 21c 入力3のCOS♥, Hz, var 表示設定 「COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 HZ HZ HZ~65Hz 21c 入力3のCOS♥, Hz, var 表示設定 「COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 HZ HZ~65Hz HZ 21c 入力3のCOS♥, Hz, var 表示設定 「AJ 3 のCOS♥, Hz, var 表示設定 NA COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 HZ 21c 人力3のCOS♥, Hz, var 表示設定 「AJ 3 0 COS♥, Hz, var 表示設定 NA SET AJ 3 0 ~0 ~0 ~0 HZ 21c 人力9×5 DI > 1 ~0 ~0 ~2 DI		2165 216F	入力2の表示マックス値設定	-9998~9999(var 設定時、LAG 1~9999)						
218 入力 2 の COS♥, Hz, var 表示設定 COS♥ : 0.5~1~0.5 , 0~1~0 218 入力 2 の COS♥, Hz, var 表示設定 $\frac{COS♥ : 0.5~1~0.5 , 0~1~0}{Hz : 45~55Hz , 55~65Hz , 45~65Hz}$ 219b 入力 3 の表示パイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時, LEAD 9999~1) 21AF 入力 3 の表示小数点設定 -9999~9999 (var 設定時, LAG 1~9999) 21bP 入力 3 の表示小数点設定 小数点なし~小数点 3 桁 21C 入力 3 の COS♥, Hz, var 表示設定 COS♥ : 0.5~1~0.5 , 0~1~0 21C 入力 3 の COS♥, Hz, var 表示設定 COS♥ : 0.5~1~0.5 , 0~1~0 Hz : 45~55Hz , 55~65Hz , 45~65Hz Var : LEAD□~0~LAG□ (□Ld 219b~21bP にて設定) 21C 入力 3 の COS♥, Hz, var 表示設定 Var : LEAD□~0~LAG□ (□Ld 219b~21bP にて設定) 21C 入力 3 の COS♥, Hz, var 表示設定 (CS♥ : 0.5~1~0.5 , 0~1~0 Hz : 45~55Hz , 55~65Hz , 45~65Hz Var : LEAD□~0~LAG□ (□Ld 219b~21bP にて設定) SET スイッチと□SIST スイッチと□AT ッチントンTシングンジンクンレーシーンシーンシーンシーンシーンシーンシーンシーンシーンシーンシーンシーンシーン	設定商法 入力 2 の COS♥, Hz, var 表示設定 COS♥: 0.5~1~0.0.5 , 0~1~0 218 入力 2 の COS♥, Hz, var 表示設定 COS♥: 0.5~1~0.0.5 , 0~1~0 12 (12)	設定項目	217P	入力2の表示小数点設定	小数点なし~小数点3桁						
218 入力 2 の COS ^Φ , Hz, var 表示設定 Hz : 45~55Hz . 55~65Hz . 45~65Hz 219b 入力 3 の表示バイアス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 21AF 入力 3 の表示マックス値設定 -99998~9999 (var 設定時、LEAD 9999~1) 21AF 入力 3 の表示マックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 21bP 入力 3 の表示小数点設定 小数点なし~小数点 3 桁 21C 入力 3 の COS ^Φ , Hz, var 表示設定 化数 : 0.5~1~0.5, 0~1~0 21C 入力 3 の COS ^Φ , Hz, var 表示設定 COS ^Φ : 0.5~1~0.5, 0~1~0 1 1.45 ~55Hz .55~65Hz .45~65Hz 21C 入力 3 の COS ^Φ , Hz, var 表示設定 COS ^Φ : 0.5~1~0.5, 0~1~0 Hz :45~55Hz 21C 入力 3 の COS ^Φ , Hz, var 表示設定 COS ^Φ : 0.5~1~0.5, 0~1~0 Hz :45~55Hz 21C 入力 3 の COS ^Φ , Hz, var 表示設定 COS ^Φ : 0.5~1~0.5, 0~1~0 Hz :45~55Hz :55~65Hz :45~65Hz 21C 人力 3 の COS ^Φ , Hz, var 表示設定 COS ^Φ : 0.5~1~0.5, 0~1~0 Hz :45~65Hz :45~65Hz 21C 人力 3 の COS ^Φ , Hz, var 表示設定 COS ^Φ : 0.5~1~0.5 :0~1~0.1 :0 :0~1~0	218 入力 2 の COS♥, Hz, var 表示設定 Hz : 45~55Hz, 55~65Hz, 45~65Hz 219b 入力 3 の表示バイアス値設定 -9999~0~10(□ l d 215b~217P l c T 設定) 219b 入力 3 の表示マックス値設定 -9999~9998 (var 設定時、LAG 1~9999) 210P 入力 3 の表示小数点設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 21bP 入力 3 の表示小数点設定 -9998~9999 (var 設定時、LAG 1~9999) 21c 入力 3 の cos♥, Hz, var 表示設定 -05 5~10 - 0.5 5, 0~1-0.0 21c 入力 3 の cos♥, Hz, var 表示設定 -05 5~10 - 0.5 - 1 - 0.5 5, 0~1-0.0 21c 入力 3 の cos♥, Hz, var 表示設定 -05 5~10 - 0.5 - 1 - 0.5 , 0~1-0.0 21c 入力 3 の cos♥, Hz, var 表示設定 -05 5~10 - 0.5 - 1 - 0.5 , 0~1-0.0 21c 入力 3 の cos♥, Hz, var 表示設定 -05 - 1 - 0.5 , 0~1-0.0 21c 入力 3 の cos♥, Hz, var 表示設定 -05 - 1 - 0.5 , 0~1-0.0 21c 入力 3 の cos♥, Hz, var 表示設定 -05 - 1 - 0.5 , 0~1-0.0 21c 入力 3 の cos♥, Hz, var 表示設定 -05 - 1 - 0.5 , 0~1-0.0 21c 人力 3 の cos♥, Hz, var 表示設定 -05 - 1 - 0.5 , 0~1-0.0 21c 人力 3 の cos♥, Hz, var 表示設定 -05 - 1 - 0.5 , 0~1-0.0 21c SET - 0.5 - 1 - 0.5 , 0 - 1 - 0.5 , 0 - 1 - 0.5 , 0 - 1 - 0.5 , 0 - 1 - 0.5 , 0 - 1				$COS \Psi : 0.5 \sim 1 \sim 0.5$, $0 \sim 1 \sim 0$						
設定植変更 日本イッチを押すと設定値が更新します。 日本イッチを押すと設定値が更新します。 日本イッチを押すと設定値が更新します。 設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。 日本代表示の場合は、デジタル表示の4桁目に"4″と表示します。	219b 入力3の表示バイアス値設定 -9999、9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 21AF 入力3の表示マックス値設定 -9998~9998 (var 設定時、LEAD 9999~1) 21AF 入力3の表示小数点設定 -9998~9999 (var 設定時、LEAD 9999~1) 21bP 入力3の表示小数点設定 小数点なし~小数点 3 桁 21c 入力3のcss, hz, var 表示設定 (Coss 2: 0.5 ~ 1~0.5 , 0~1~0 21c 入力3のCoss, hz, var 表示設定 (Coss 2: 0.5 ~ 1~0.5 , 0~1~0 12 : 45~55Hz , 45~65Hz (Coss 2: 0.5 ~ 1~0.5 , 0~1~0 12 : 45~55Hz , 55~66Hz , 45~65Hz 21 : 45~55Hz , 55~66Hz , 45~65Hz 12 : 45~55Hz , 55~66Hz , 45~65Hz 13 の coss, hz, var 表示設定 [Coss 2: 0.5 ~ 1~0.5 , 0~1~0 [Coss 2: 0.5 ~ 1~0.5 , 0~1~0 12 : 45~55Hz , 55~66Hz , 45~65Hz [Coss 2: 0.5 ~ 1~0.5 , 0~1~0 21 : 0 : 0 : 0 : 0 : 0 : 0 : 0 : 0 : 0 :		218	入力 2 の COS 🎙, Hz, var 表示設定	Hz : 45~55Hz , 55~65Hz , 45~65Hz Var : LEAD□~0~LAG□ (□は 215b~217P にて設定)						
設定方法 Note (Apple Display = 1 > Addition of the additic additic addition of the additic addition of the addition of	設定値変更 人力3の支示・サクス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAE 0~9999) 21AF 入力3の支示マックス値設定 -9998~9999 (var 設定時、LAE 0~9999) 21bP 入力3の表示小数点設定 小数点なし~小数点3析 21c 入力3のの表示小数点設定 小数点なし~小数点3析 21C 入力3のCOS♥, Hz, var 表示設定 COS♥: 0.5~1~0.5; 0~0~1~0 Hz : 45~55Hz; .55~65Hz; .45~65Hz Var : LEAD□~0~LAG□ (□は 219b~21bP にて設定) 設定表示 SET スイッチをDISPLAY スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、計測表示モードから設定モード2になります。RESET/SHIFT スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、計測表示モードから設定モード2になります。RESET/SHIFT スイッチを回転に、設定項目が切替わります。 RESET/SHIFT スイッチを加すす (COS♥ マは Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイアス値、マックス値、小数点設定は除外されます。 RESET/SHIFT スイッチを押すと設定値が変更できます。H マは□スイッチを押し続けることにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。H マは□スイッチを押し続けることにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。H マッチを押したがらH スイッチを押すことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。B ET スイッチを押したがらH スイッチを押すことにより切替わります。4桁表示の場合は、デジタル表示の4桁目に″4″と表示します。 設定値変更 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません) 初期設定値 に戻す 設定中にH スイッチを回時に3秒以上連続で押すと、現在設定している入力 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。		219h	入力3の表示バイアス値設定	-9000~9098 (var 設定時 IFAD 9090~1)						
21bP 入力3の表示小数点設定 小数点なし〜小数点3桁 21bP 入力3の表示小数点設定 小数点なし〜小数点3桁 21c 入力3のCOS♥,Hz,var表示設定 $COS♥: 0.5 \sim 1 \sim 0.5, 0 \sim 1 \sim 0$ 1 1:: 45 \sim 55Hz, 55 \sim 65Hz, 45 \sim 65Hz Var: 1LEAD□~0~LAG□ (□は 219b~21bP にて設定) 設定表示 SET スイッチとDISPLAY スイッチを同時に 3 秒以上連続で押すと、計測表示モードから 設定モード2になります。RESET/SHIFT スイッチと中スイッチスはRESET/SHIFT スイッチ 2.1 SET スイッチとDISPLAY スイッチを同時に 3 秒以上連続で押すと、計測表示モードから 設定モード2になります。RESET/SHIFT スイッチと中スイッチスはRESET/SHIFT スイッチ 2.1 RESET/SHIFT スイッチを御す度に、設定項目が切替わります。 RESET/SHIFT スイッチを押すと設定値が切替わります。 RESET/SHIFT スイッチを押すた アックス値、小数点設定は除外されます。 RESET/SHIFT スイッチを押すと設定値が変更できます。 設定値変更 $H = X - 1 = Y$	記加 入力3の表示小数点設定 小数点なし〜小数点3桁 21bP 入力3の表示小数点設定 小数点なし〜小数点3桁 21c 入力3のCoS♥, Hz, var 表示設定 $COS♥: 0.5 \sim 1 \sim 0.5, 0 \sim 1 \sim 0$ 1 Hz :45 \sim 55Hz, 55 \sim 65Hz, 45 \sim 65Hz Var : LEAD□ ~ 0 ~ LAG□ (□[d 219b~21bP [c \cap k]]) 21c 入力3のCoS♥, Hz, var 表示設定 Hz Hz : 45 ~ 55Hz, 55 ~ 65Hz, 45 ~ 65Hz Var : LEAD□ ~ 0 ~ LAG□ (□[d 219b~21bP [c \cap k]]) Var : LEAD□ ~ 0 ~ LAG□ (□[d 219b~21bP [c \cap k]]) 210 $\lambda = A + y \neq b$ Display $x + y \neq b$ $x = 45 \sim 55Hz$, $55 ~ 65Hz$, $45 ~ 65Hz$ Var : LEAD□ ~ 0 ~ LAG□ (□[d 219b~21bP [c \cap k]]) $x = A + y \neq b$ $x + y \neq b$ $x = x + y = b$ $x + y \neq b$ $x = x + y = b$ $x + y \neq b$ $x = y - x + z$ $x + y \neq b$ $x = y - x + z$ $x + y \neq b$ $x = y - x + z$ $x + y \neq b$ $x = y - x + z$ $x + y \neq b$ $x = y - x + z$ $x + y \neq b$ $x = y - x + z$ $x + y \neq b$ $x = y - x + z$		2135 21AF	入力3の表示マックス値設定	-9998~9999(var 設定時、LAG 1~9999)						
21C 入力 3 の COS♥, Hz, var 表示設定 COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 出 : 45~55Hz, 55~65Hz, 45~65Hz Var : LEAD□~0~LAG□ (□Lt 219b~21bP にて設定) Var : LEAD□~0~LAG□ (□Lt 219b~21bP にて設定) 設定表示 SET スイッチと DISPLAY スイッチを同時に 3 秒以上連続で押すと、計測表示モードから 設定モード 2 になります。RESET/SHIFT スイッチと スイッチスは RESET/SHIFT スイッチン (RESET/SHIFT スイッチ と スイッチにて表示スケーリング設定の項目に移動します。 RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 表示スケーリング設定にて COS♥又は Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイア ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。 設定値変更 (コイッチスは□スイッチを押すと設定値が変更できます。) (コイッチを押し続ける ことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。) 股定値変更新しま示設定時、3 桁表示 ↔ 4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に″4″と表示します。 設定値更新 ST スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません)	21C 入力 3 の COS♥, Hz, var 表示設定 COS♥: 0.5~1~0.5, 0~1~0 Hz : 45~55Hz, 55~65Hz, 45~65Hz Var : LEAD□~0~LAG□ (□[d 219b~21bP [CT 2]) War : LEAD□~0~LAG□ (□[d 219b~21bP [CT 2]) 設定表示 SET スイッチとDISPLAY スイッチを同時に 3 秒以上連続で押すと、計測表示モードから 設定モード2 になります。RESET/SHIFT スイッチと日スイッチスは RESET/SHIFT スイッチ とコイッチにて表示スケーリング設定の項目に移動します。 RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 RESET/SHIFT スイッチを押すり定 スイッチを押すと定してOS♥ Zは Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイア ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。 設定値変更 日スイッチを押すと設定値が変更できます。日又はコスイッチを押し続ける ことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。日又はコスイッチを押し続ける ことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 設定値変更 SET スイッチを押すと設定値が取ります。 設定値変更 SET スイッチを押すと設定値が変更できます。 物規定値に戻ります。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません) 初期設定値に戻ります。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません) 初期設定値に戻ります。(フリッカ ML)上連続で押すと、現在設定している入力 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。		21bP	入力3の表示小数点設定	小数点なし~小数点3桁						
21c 入力300 cosp, hz, var 表示設定 Hz : 43~05HZ, 35~05HZ, 45~05HZ Var : LEAD□~0~LAG□ (□は 219b~21bP にて設定) Var : LEAD□~0~LAG□ (□は 219b~21bP にて設定) 設定表示 設定表示 Bpc 振安 Wr : LEAD□~0~LAG□ (□は 219b~21bP にて設定) Bpc 振示 SET スイッチと DISPLAY スイッチを同時に 3 秒以上連続で押すと、計測表示モードから Bpc 振示 Bpc 振示 Bpc 振示 Bpc 値変更 Bpc 値更新 Bpc 値更新 ST スイッチを押すと設定値が段階的に高速動作で変更できます。 Bpc 値更新 ST スイッチを押すと設定値が段階的に高速動作で変更できます。 Bpc 値更新 ST スイッチを押すと設定値が更新します。 Bpc 値更新 St スイッチを押すと設定値が更新します。 Bpc 値更新 St スイッチを押すと設定値が見 Bpc 値更新 Bpc 値	210 入力3 の COSP, h2, Var 表示設定 H2 : 45~30H2, 35~05H2, 45~05H2 Var <td: (□は="" 219b~21bp="" lead□~0~lag□="" td="" にて設定)<=""> Var : LEAD□~0~LAG□ (□は 219b~21bP にて設定) Var : LEAD□~0~LAG□ (□は 219b~21bP にて設定) 設定表示 SET スイッチとDISPLAT スイッチを同時に 3 秒以上連続で押すと、計測表示モードから 設定モード 2 になります。RESET/SHIFT スイッチと スイッチスは RESET/SHIFT スイッチン スイッチスは RESET/SHIFT スイッチ アイッチにて表示スケーリング設定の項目に移動します。 RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 RESET/SHIFT スイッチを押す定している場合、その入力要素の表示スイア ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。 設定値変更 ロスイッチマは□スイッチを押すと設定値が変更できます。 H2 エ 45~30H2, 550 (1) ロスイッチを押しがら 水(マックス値、小数点設定は除外されます。) ロスイッチを押し続ける ことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 ロスイッチを押し続ける ことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 ロスイッチを押したいう H2 エ 45~30H2, 550 (1) スイッチを押し続ける ことにより切替わります。4桁表示の場合は、デジタル表示の4桁目に″4″と表示します。 設定値更新します。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません) 初期設定値に戻ります。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません) 初期設定値 設定中に コイッチを回転に 3 秒以上連続で押すと、現在設定している入力 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。</td:>		010		$\cos \phi$: 0.5~1~0.5, 0~1~0						
設定表示 SET スイッチとDISPLAY スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、計測表示モードから 設定モード2になります。RESET/SHIFT スイッチと十スイッチ又はRESET/SHIFT スイッチ とコスイッチにて表示スケーリング設定の項目に移動します。 RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 表示スケーリング設定にて COS♥又は Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイア ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。 設定値変更 サスイッチ又はコイッチを押すと設定値が変更できます。中又はコスイッチを押し続ける ことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 Hz 表示設定時、3桁表示 ↔ 4桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら+スイッチ を押すことにより切替わります。4桁表示の場合は、デジタル表示の4桁目に"4"と表示します。 設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません)	設定表示SET スイッチとDISPLAY スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、計測表示モードから 設定モード2になります。RESET/SHIFT スイッチと中スイッチ又はRESET/SHIFT スイッチ シースイッチにて表示スケーリング設定の項目に移動します。 RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 表示スケーリング設定にて COS♥又は Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイア ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。設定値変更中スイッチ又は一スイッチを押すと設定値が変更できます。 サスイッチを押すと設定値が変更できます。 ・ 比表示設定時、3桁表示 い4桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら中スイッチ を押すことにより切替わります。 を押すことにより切替わります。 の場合は、デジタル表示の4桁目に"4"と表示します。設定値更新SET スイッチを押すと設定値が更新します。 の期設定値に戻ります。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません)初期設定値 に戻す設定中に十スイッチを一スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、現在設定している入力 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。		210	八月307005♥, flZ, Var 衣小設定	Hz : 45~55Hz , 55~65Hz , 45~65Hz Var : LEAD□~0~LAG□ (□は 219b~21bP にて設定)						
設定表示設定表示設定モード2になります。RESET/SHIFT スイッチと十スイッチ又はRESET/SHIFT スイッチ とコスイッチにて表示スケーリング設定の項目に移動します。 RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 表示スケーリング設定にて COS アスは Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイア ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。設定値変更サスイッチスは「スイッチを押すと設定値が変更できます。中スイッチを押し続ける ことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 Hz 表示設定時、3 桁表示 い4 桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら中スイッチ を押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に"4"と表示します。 初期設定値に戻ります。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません)	設定表示設定モード2になります。RESET/SHIFT スイッチと十スイッチ又はRESET/SHIFT スイッチ とコスイッチにて表示スケーリング設定の項目に移動します。 RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 表示スケーリング設定にて COS♥又は Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイア ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。設定値変更+スイッチ又はコスイッチを押すと設定値が変更できます。+又はコスイッチを押し続ける ことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 Hz 表示設定時、3 桁表示 $\leftrightarrow 4$ 桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら+スイッチ を押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4桁目に″4″と表示します。設定値更新SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません)初期設定値設定中に+スイッチとコスイッチを同時に 3 秒以上連続で押すと、現在設定している入力 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。	-		SET スイッチとDISPLAY スイッチ	を同時に3秒以上連続で押すと、計測表示モードから						
設定表示 とコスイッチにて表示スケーリング設定の項目に移動します。 RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 表示スケーリング設定にて COS♥又は Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイアス値、マックス値、小数点設定は除外されます。 設定値変更 Hスイッチ又はコスイッチを押すと設定値が変更できます。 設定値変更 Hスイッチ又はコスイッチを押すと設定値が変更できます。 Bpr値変更 Hスイッチマはコスイッチを押すと設定値が改階的に高速動作で変更できます。 Bpr値変更新しま示設定時、3桁表示 ↔ 4桁表示切替えをする場合、SETスイッチを押しながらHスイッチを押すことにより切替わります。4桁表示の場合は、デジタル表示の4桁目に″4″と表示します。 Bpr値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が初期設定値に戻ります。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません)	設定表示と スイッチにて表示スケーリング設定の項目に移動します。 RESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 表示スケーリング設定にて COS アスは Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイア ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。設定値変更出スイッチ又は スイッチを押すと設定値が変更できます。 ロスイッチを押すと設定値が段階的に高速動作で変更できます。 Hz 表示設定時、3 桁表示 $\leftrightarrow 4$ 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に"4"と表示します。 設定値更新設定値更新SET スイッチを押すと設定値が更新します。 初期設定値に戻ります。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません)初期設定値設定中に出スイッチと スイッチを同時に3 秒以上連続で押すと、現在設定している入力 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。			設定モード2になります。RESET/	SHIFT スイッチと+スイッチ又はRESET/SHIFT スイッチ						
設定拡大 ESET/SHIFT スイッチを押す度に、設定項目が切替わります。 表示スケーリング設定にて COS♥又は Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイア ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。 設定値変更 中スイッチ又は一スイッチを押すと設定値が変更できます。 + スイッチを押すと設定値が段階的に高速動作で変更できます。 Hz 表示設定時、3 桁表示 ↔ 4 桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら + スイッチ を押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に″4″と表示します。 設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/OFF 設定は変更ありません)	設定私がESET/SHIFT 表示スケーリング設定にて COS 文値、マックス値、小数点設定は除外されます。設定方法H設定値変更Hスイッチを押すと設定値が変更できます。 とにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 比表示設定時、3桁表示 $\leftrightarrow 4$ 桁表示切替えをする場合、SET を押すことにより切替わります。4桁表示の場合は、デジタル表示の4桁目に"4"と表示します。 お期設定値に戻ります。(フリッカ ON/OFF 設定は変更ありません)初期設定値 に戻す設定中に 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。		现安丰子	と ースイッチにて表示スケーリン	 グ設定の項目に移動します。						
設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。 Aft スイッチを押すと設定値が更新した入力要素の支示バイア 設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。 Hスイッチを押すと設定値が変更できます。	設定方法表示スケーリング設定にて \cos^{\bullet} 又は Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイア ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。設定値変更+スイッチ又は「スイッチを押すと設定値が変更できます。+」 とにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 Hz表示設定時、3桁表示 $\leftrightarrow 4$ 桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら++スイッチ を押すことにより切替わります。4桁表示の場合は、デジタル表示の4桁目に"4"と表示します。設定値更新SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/OFF 設定は変更ありません)初期設定値 に戻す設定中に++スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、現在設定している入力 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。			RESET/SHIFT スイッチを押す度に、	、設定項目が切替わります。						
設定方法 ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。 設定値変更 出スイッチ又はコスイッチを押すと設定値が変更できます。 設定値変更 出スイッチ又はコスイッチを押すと設定値が変更できます。 La 表示設定時、3 桁表示 ↔ 4 桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら出スイッチを押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に"4"と表示します。 設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません)	設定方法ス値、マックス値、小数点設定は除外されます。設定値変更 $+$ スイッチ又は「スイッチを押すと設定値が変更できます。 ことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 に表示設定時、3桁表示 $\leftrightarrow 4$ 桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら + スイッチ を押すことにより切替わります。4桁表示の場合は、デジタル表示の4桁目に"4"と表示します。設定値更新SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません)初期設定値設定中に+ スイッチと「スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、現在設定している入力 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。			表示スケーリング設定にて COS Pマ	は Hz 表示設定している場合、その入力要素の表示バイア						
 設定値変更 出スイッチ又は□スイッチを押すと設定値が変更できます。 H_又は□スイッチを押し続けることにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 Hz 表示設定時、3 桁表示 ↔ 4 桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら + スイッチを押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に"4"と表示します。 設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません) 	 設定値変更 出スイッチ又は―スイッチを押すと設定値が変更できます。 出スイッチを押し続けることにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 出表示設定時、3 桁表示 ↔ 4 桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら オイッチを押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に"4"と表示します。 設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません) 初期設定値 設定中にオスイッチと―スイッチを同時に33秒以上連続で押すと、現在設定している入力要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。 			ス値、マックス値、小数点設定は	途外されます。						
 設定値変更 ことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 出表示設定時、3 桁表示 ↔ 4 桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら十スイッチを押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に"4"と表示します。 設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません) 	 設定値変更 ことにより設定値が段階的に高速動作で変更できます。 Hz 表示設定時、3 桁表示 ↔ 4 桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら十スイッチ を押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に"4"と表示します。 設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません) 初期設定値 設定中に十スイッチと一スイッチを同時に3 秒以上連続で押すと、現在設定している入力 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。 	設定方法		- スイッチ又は スイッチを押す	と設定値が変更できます。十又は一スイッチを押し続ける						
Hz 表示設定時、3 桁表示 ↔ 4 桁表示切替えをする場合、[SET]スイッチを押しながら+ スイッチ を押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に"4"と表示します。 設定値更新 認定値更新 初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません)	 Hz 表示設定時、3 桁表示 ↔ 4 桁表示切替えをする場合、[SET]スイッチを押しながら + スイッチ を押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に"4"と表示します。 設定値更新 [SET]スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません) 初期設定値 設定中に + スイッチと - スイッチを同時に3 秒以上連続で押すと、現在設定している入力 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。 	W/L/J/L	設定値変更	ことにより設定値が段階的に高速	動作で変更できます。						
を押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に"4"と表示します。 設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません)	 を押すことにより切替わります。4 桁表示の場合は、デジタル表示の4 桁目に"4"と表示します。 設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません) 初期設定値 設定中に十スイッチとースイッチを同時に3秒以上連続で押すと、現在設定している入力 に戻す 設定の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。 			Hz表示設定時、3桁表示 ↔4桁表示切替えをする場合、SET スイッチを押しながら十スイッチ							
設定値更新 SET スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません)	設定値更新[SET]スイッチを押すと設定値が更新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が 初期設定値に戻ります。(フリッカ 0N/0FF 設定は変更ありません)初期設定値設定中に十スイッチとコスイッチを同時に3秒以上連続で押すと、現在設定している入力 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。			を押すことにより切替わります。4	桁表示の場合は、テシタル表示の4桁目に"4"と表示します。						
	初期設定値 設定中に+スイッチと-スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、現在設定している入力 に戻す 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。		設定値更新	SET スイッチを押すと設定値が更新 初期設定値に戻ります。(フリッカ	新します。更新した入力要素の上限・下限フリッカ値が のN/OFF 設定は変更ありません)						
初期設定値 設定中に十スイッチと一スイッチを同時に3秒以上連続で押すと 現在設定している入力	に戻す 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。		初期設定値	設定中に十スイッチと一スイッチ	を同時に3秒以上連続で押すと、現在設定している入力						
に戻す 要素の表示スケーリング値と上限・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。			に戻す	要素の表示スケーリング値と上限	・下限フリッカ値のみ両方共初期設定値に戻ります。						



(2) 入力キャリブレーション設定(設定No. 221b~226F) 入力要素の表示値調整(零位調整等)ができます。

			RESE	T/SHIFT —	
	221 入力 バイア	.b 1 の マス値 223b 225b も同様 〕	222F 入力1の スパン値 して 224F 226F ま	·····> 223b~22 入力 2 0 設定項目 。 同様) · 223b	4F → → → → → 225b~226F 入力 3 の 設定項目 → → ・ ・ ・ ・ ・ 225b~226F 入力 3 の 設定項目
設定手順		<u>→</u> <u>→</u> <u>→</u> <u>→</u> <u>→</u> <u>→</u> <u>→</u>		• 224F	• 226F
	+ ↓ 9.99	<u> </u>	+ − ↓ 9.99%		初期設定値
	設定No.		設定内容		設定値可能範囲
	221b	入力1のキャリフ	ブレーション(バイ)	アス)設定	入力スパンの-9.99%~9.99%
	222F	入力1のキャリフ	ブレーション(スパ)	ン) 設定	入力スパンの-9.99%~9.99%
設定項目	223b	入力2のキャリフ	ブレーション(バイ)	アス)設定	入力スパンの-9.99%~9.99%
	224F	入力2のキャリフ	ブレーション(スパン	ン) 設定	入力スパンの-9.99%~9.99%
	225b	入力3のキャリフ	ブレーション(バイ)	アス)設定	入力スパンの-9.99%~9.99%
	226F	人力3のキャリン		>) 設定	入力スパンの-9.99%~9.99%
	設定表示	SET スイッチとD から設定モード 2 RESET/SHIFT スィ リブレーション説 RESET/SHIFT スィ)ISPLAY スイッチを 2 になります。 (ッチと十スイッチ) 設定の項目に移動しる (ッチを押す度に設)	同時に3秒以上連 又は <mark>RESET/SHIFT</mark> ます。 定項目が切替りま	続で押すと、計測表示モード]スイッチとスイッチにて入力キャ す。
設定方法	設定値変更	 スイッチ又は ことにより設定値	スイッチを押すと 直が段階的に高速動	設定値が変更でき 乍で変更できます	ます。十又は一スイッチを押し続ける。
	設定値更新	SET スイッチを排	甲すと設定値が更新	します。	
	初期設定値 に戻す	設定中に <u>+</u> スイッ が初期設定値に厚	ッチと <mark></mark> スイッチを 厚ります。	同時に3秒以上連	E続で押すと、現在設定している値のみ
復帰方法	DISPLAY スイ	イッチを押すか、又	は 10 分間無操作で	計測表示モードに	戻ります。
画面表示	·入力1のバ 設定No.	イアス設定 設定値 50 50 50 50 50 50 50 50 60 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80	・入力1のス/ 設定No.	ペン設定 設定値 P2F - 002 New 1 800 A	a a
	現仕計測個		坑住町側旭		

(3) 入力感度設定(設定No. 231~233)

入力要素のバーグラフ表示の感度変更ができます。

	RESET/SHIFT								
設定手順		$\frac{1}{1 + 1} \rightarrow \frac{\text{RESET}}{1 + 1 + 1} \rightarrow \frac{232}{1 + 1 + 1 + 1}$	$\stackrel{\text{RESET}}{\longrightarrow} 1 \pm 2 \times 1 \pm \overline{233}$						
		<u>へ刀感度</u> 」 SHIFT <u> 入刀2の入刀感</u>]	<u>&度</u>] SHIFT [<u>入力3の入力感</u> 度] \Box						
	100								
		\wedge $ $ \wedge	↑ 初期設定値						
	\downarrow								
	50%								
		$\uparrow \qquad \qquad$							
	$+$ \downarrow		+ $ +$ $+$ $+$						
	1%	6 1%							
	設定No.	設定内容	設定値可能範囲(13)						
設定項日	231	入力1の入力感度設定	フルスケールの1%~100%						
K/L·QI	232	入力2の入力感度設定	フルスケールの1%~100%						
	233	入力3の入力感度設定	フルスケールの1%~100%						
	設定表示	SET スイッチとDISPLAY スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、計測表示モードから設定 モード2になります。 RESET/SHIFT スイッチと+スイッチ又はRESET/SHIFT スイッチと-スイッチにて入力感度 認定の頂目に移動します。							
		RESET/SHIFT スイッチを押す度	に設定項目が切替ります。						
設定方法		表示スケーリング設定にて COS	♥又はHz 表示設定している場合、その入力要素の						
	**								
	設定値変更 [+]スイッチ又は-]スイッチを押すと設定値が変更できます。								
	設定値更新	SET スイッチを押すと設定値が	「更新します。						
	初期設定値 に戻す	設定中に <u>+</u> スイッチと <u>-</u> スイッ が初期設定値に戻ります。	・チを同時に3秒以上連続で押すと、現在設定している値のみ						
復帰方法	DISPLAY スイ	イッチを押すか、又は 10 分間無操	操作で計測表示モードに戻ります。						
	・入力1の感	度設定							
	設定No.	現在設定値							
画面表示			È						

注(13)入力感度設定39%以下はバーグラフ表示の許容差が異なります。

(4) 出力要素設定(設定No. 241A~243A)

入力要素に対するアナログ出力の要素を設定できます。

要素なしに設定するとアナログ出力は出力されません。(例:4~20mAのときは、0mAとなります)

アナログ出力なしのとき、この設定項目はありません。また、計測表示 ON/OFF にて OFF にした入力要素は設定できま せん。



(5) 出力キャリブレーション設定(設定No. 251b~256F) アナログ出力の出力値の調整ができます。アナログ出力なしのとき、この設定項目はありません。



注(14) 出力キャリブレーションスパン設定 60.01%以上は、アナログ出力の許容差が異なります。

- (6) 低入力カット設定(設定No. 261~263)
 - 入力スパンの0.5%未満に相当する微小入力のとき、表示値を0に固定します。

ただし、表示スケーリング 0~N, -N~0~N(例:-100~0~100)のときのみ有効。-N'~0~N(例:-10~0~100), -N~0 のときは機能しません。



(7)表示不感帯設定(設定No. 271~273)入力変動による表示値のばらつきを抑える時に設定します。

			— RESET/SHIFT —			7	
設定手順	→ 入力 表示不感 0.0 1.0 + ↓ 2.0	1 1 の 送帯設定 - RESET/ → SHIFT → %	272 入力 2 の 表示不感帯設定 0.0% 0.0% 1.0% 1.0%	-RESET/ →	273 入力 3 の 表示不感帯設定 0.0% 0.0% 1.0% 1.0% 1.0% 2.0%	初期設定値	
	設定No.		設定内容		設定	官値可能範囲	
設定項目	271	入力1の表示不感	帯の設定		0.0%~2.0%		
	272	人力2の表示不感	幕の設定		$0.0\% \sim 2.0\%$		
	273	入力3の表示不感	常の設定		0.0%~2.0%		
設定方法	設定表示 設定値変更 設定値更新	SEI スイッナとD モード2になりま RESET/SHIFTスイ 設定の項目に移動 RESET/SHIFTスイ 十スイッチ又は	<u>ISPLAY</u> スイッナを す。 ッチと十スイッチ します。 ッチを押す度に設 スイッチを押すと コナと設定値が更新	同時に3 ^枚 又はRESET 定項目がり 設定値が逐 します	y以上連続で押すと C/SHIFT スイッチと D替ります。 変更できます。	、計測表示モートから設定	
	以 ,但更利	<u>351</u> ×497234					
	初期設定値 に戻す	設定中に <u>+</u> スイッ が初期設定値に戻	・チと <u>ー</u> スイッチを ミります。	同時に3枚	少以上連続で押すと	、現任設定している値のみ	
復帰方法	DISPLAY スイ	イッチを押すか、又	は 10 分間無操作で	計測表示	モードに戻ります。		
画面表示	 入力1の表 設定No. (2) 	示不感帯設定 現在設定 新 71 00 1 km 1 1 00					

(8) 計測表示 ON/OFF 設定(設定No. 281~283)

入力要素の計測表示 ON/OFF を設定します。

この設定で OFF した入力要素に関係する出力要素設定はできなくなります。また、OFF にした入力要素が設定されていた場合、その出力は OFF になります。計測表示設定を OFF から ON にした場合、出力は OFF のままなので、その出力 要素設定を再度設定し直してください。



(9) 初期設定に戻す(設定No. 291)全ての設定値を初期設定値に戻したいときに設定します。

設定手順	291 初期設定値 SET を 3 秒以上邦 ↓ 初期設定値に戻	甲 す でる						
設定項目	設定No.	設定内容	設定値可能範囲					
	291	初期設定値に戻す設定						
設定方法	設定表示	SET スイッチとDISPLAY スイッチを同時に3秒以上連続で押すと、計測表示モードから設定モード2になります。 RESET/SHIFT スイッチと +スイッチ又はRESET/SHIFT スイッチと 「初期設定値に戻す」の項目に移動します。						
	初期設定値に戻す SET スイッチを3秒以上押すと全ての設定値が初期設定値に戻ります。							
復帰方法	DISPLAY スイッチを	:押すか、又は10分間無操作で計測表示モ	ードに戻ります。					
画面表示	・初期設定値に戻す 設定No. 初 29: 0	設定 期化が実行された場合に点灯します EF EF						

6.6 バーグラフのスケールについて

(1) バーグラフのスケールは、表示のフルスケール値を含む最も近いスケールを、下記標準スケールの中より自動選択し、 表示します。また、標準のバーグラフ表示は、0~N, -N~0, -N~0~N の3通りとなります。



- (2) 表示スケーリングの設定により、表示フルスケール値が上記スケール区分の間となってしまう場合は、その値を含む 最も近いバースケールを選択します。
 - 例)入力1の表示スケーリング0~1900Wの場合



1900 というスケールは無いので 2000 のスケール を選択します。

(1900 値を含む最も近いバースケールを選択します)

例)入力1の表示スケーリング -98.0~+98.0W



98 というスケールは無いので 100 のスケールを 選択します。

<ご注意>

- ・ 10~2000 など 0 を含まないスケールの場合は、標準バースケール 0~2000 で表示されます。
- -10~0~100 などアンバランスのスケールの場合は、標準バースケールは-100~0~100 で表示されます。
 上記以外のバースケールをご希望の場合はご相談ください。
- (3) 各スケール区分の詳細については、付図1「バースケール目盛区分詳細」を参照してください。

^{(98.0} 値を含む最も近いバースケールを標準 スケールより選択します)

7. 仕様

7.1 仕様コード・形名

1	2	3	4	5	6		\bigcirc		8
形名	 ハード モデル	入力回路	入力 レンジ	補助電源	外部操作 入力	_	アナログ 出力	0	取付位置

昆夕			雷乙式市	「法会信メータ
叩泊	形名 (機能)	バックライトたし	电丁式回 XIC-110	
	//2-11 (1)&HE/	バックライトなし	XLC 110	Ι Ι
1		1197711B	直流入力	上
			コード]
	い ドナディ		A	バックライトなし
2	ハートモナル		D	白色バックライト
			6	直流入力×1回路
3	入力回路		7	直流入力×2回路
			8	直流入力×3回路
			1	DC1~5V
			2	DCO~1V
			3	DC0~5V
			4	DC0~10V
			5	DC4~20mA
(4)	入力レンジ		6	DCO~1mA
Û	(直流入力用仕様コー	ド)	7	DCO~5mA
			8	DCO~10mA
			9	DC0~16mA
			А	DCO~20mA
			Z	上記以外(15)
			1	AC85~253V
~				DC80~143V 兼用
(5)	補助電源		2	DC20~56V
			7	
			L	上記以外
			0	
6	外部操作入力		2	外部リセット
			7	上記以及
			0	アナログ出力かし
			1	
			2	DC4 - 20 mA
			2	DC0 = 1 mm
\bigcirc	アナログ出力			$DC1 \sim 5V$
			5	$DCO \sim 10V$
			0	
			7	アナログ出力上記以外 (16)
_			0	上段取付用
(8)	取付位置		F	取付位置共用(ハードモデルDのみ対応)
注(15) 1) 入力レンジ標 ^{進歯}	し作範囲 ・・・・・・ 雪	『 F 下 入 カ +	$50 \text{mV} \sim \pm 300 \text{V}$
, <u> </u>			ミニン、// ニ 電流入力 ±	$\pm 500 \ \mu \text{ A}^{-} \pm 50 \text{mA}$
	2)入力レンジ特殊集	』作範囲 ・・・・・・ 1	- ご - 定格が同	- でない場合
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	2	 電流入力 	$1 \pm 100 \mu \text{A} \sim \pm 499 \mu \text{A}$
			(デジタル碁	長示許容差が±1.0% → ±1.5%に変ります)
注(16)1)アナログ出力	售製作範囲 ••••• 雪	『圧出力 +	$\pm 100 \text{mV} \sim \pm 10 \text{V}$
			■二二二/2/二 電流出力 ±	$500 \mu A \sim +20 m A$, $-10 m A$

出力回路数は、入力回路数と同一になります。

- 2) アナログ出力特殊製作範囲 ・・・・ 1. 定格が同一でない場合
 - 2. 入力回路数と出力回路数が同一でない場合(例:3入力→1出力)

3. 電流出力 ±100µA~±499µA

(アナログ出力許容差が±0.5% → ±1.0%に変ります)

7.2 仕様

項目	仕様											
入力回路数	最大 3 回路(相互間 AC2000V で絶縁)											
	コード	入力		入力	抵抗	備考						
	1	DC1 \sim 5V		約 1M	ſΩ	入力レ	-ンジ標	準製作範囲	電圧入	力 ±50mV~±	:300V	
	2	DCO \sim 1V		約 1M	ſΩ				電流入力 ±500μA~±50mA			
	3	DCO \sim 5V		約 1M	ſΩ	7 カレンジ 株研制 佐 密田			1 字拔	がヨーマわい		
	4	DC0~10V		約 1M	ſΩ	八月レンン特殊製作範囲			1. 足俗 9 重法	Fが同一 Cない Sスカ +100…	い 切口	00 1
	5	DC4~20m	A	約 50	Ω (4. 电0 (デジタ) 	レ素示許容差	A ~ 上 4: : が + 1)	$0\% \rightarrow$
人力範囲	6	DCO \sim 1mA		約 1k	Ω				+1 50	ル衣小町谷左 以に亦ります)	£/J ⁴ ⊥ 1. V	0 /0
	7	DCO \sim 5m	A	約 20	Ω 0(±1.0	/0に変りより)		
	8	DC0~10m	A	約10	Ω 00	入力に	t、3回	路(最大)同-	一定格とな	よります。(標	準)	
	9	DC0~16m	A	約 50	Ω (例)	入力1	:4∼20mA,	入力 2:4	4~20mA, 入力	$3:4\sim$	20mA
	А	DC0~20m	A	約 50	Ω (入力カ	洞一で	ない場合け	"7."とな	います。(特殊	殊)	
	Z	上記以外		_	_	例)	入力1	$: 4 \sim 20 \text{mA}.$	入力2:(、 ~1mA. 入力	$3:1\sim5$	SV.
	デジタ	<u>ル</u> 表示	-9999	9~999	99	1/ 1/	/ // / 1		析数。/	数点の位置に	。 t 任 意 に	設定可能
		-	(1)	LEAD ($500 \sim 1$	1.000~	-LAG O.	500	111 2011			
	力率(COSY)表示	(2)	LEAD ($0.000 \sim 1$	1.000~	-LAG 0.	000	4桁固定	、小数点の位	置は固定	定
デジタル			(1)	45.0~	-55.0Hz	又は	$\frac{1}{45.00}$	55.00Hz				
表示範囲	周波数	表示	(2)	55.0~	-65.0Hz	又は	55.00∼	65.00Hz	3 桁又は	4桁固定、小	数点の	位置は固定
			(3) 4	45.0~	-65.0Hz	又は	45.00∼	65.00Hz				
	無効電	力表示	LEAD	0000/		- 0000			标粉	、粉占の位置に	ト化音に	现史可能
	(LEAD,	LAG)	LEAD	LEAD 9999~0~LAG 9999					111 致、/	、数点の近直に	「正忠に	
			1,	1.2 ,	1.5 , 1	1.6 , 1	1.8 , 2	, 2.4 ,				
	最大日	成値	2.5,3,3.2,3.6,4,4.5,4.8,5,					4.8,5,	ただし	-9900 <n<9< td=""><td>900 の新</td><td>1 T</td></n<9<>	900 の新	1 T
	城八百瘟區		6 , 6.4 , 7.2 , 7.5 , 8 , 9 , 9.6					9.6				
)の整義	数乗倍(]	10 ⁿ)						
バーグラフ	力率(COS🎔)表示		(1) LEAD 0.5 \sim 1 \sim LAG 0.5			目盛値に	は固定					
表示範囲	221 ((2)]	(2) LEAD $0 \sim 1 \sim \text{LAG } 0$				力率表示	民選択時のみ、	LEAD, L	AG 表示		
			(1) 4	(1) $45 \sim 55 \text{Hz}$								
	周波数	周波数表示		(2) $55 \sim 65 \text{Hz}$			目盛値に	は固定				
			(3) 45~65Hz				2 2 2 2 2					
	無効電	刀表示	LEAD ~0~LAG			ボはしロじれば ただし、LEAD 990 年がましまご選切		LEAD 9900~0	0∼LAG	9900の範囲		
	(LEAD, 並且主	LAG)	(17)	上記り	「取人日生	益胆と	可し叙礼		無効電力表示選択時のみ、LEAD, LAG 表示			
	(1)	小(18 1里須)	()	(1)	A Dm		甲型 (10)	レタリンク	衣小 (55	1里須ノ(ご) Nm3 /min	(55)	귵
	(1)	A la A		(1)			(19)	L/II L/min	(37)	NIII / III111 N /2	(55)	皮
	(2)	KA I-V		(2)	bar		(20)	L/ MIN	(38)	N/m N/mm ²		
	(3)	L-W (18)		(3)			(21)	ma /I	(40)	N/ IIIII		
	(4)	KW ()		(4)	EL m		(22)	min ⁻¹	(40)	De		
	(3)	III 		(0)			(23)	m111	(41)	га		
	(0)	m/min (18)		(0)	п2		(24)	IIIL/ III111	(42)	рп		
	(7)	m/min ()		(7)	J		(23)	$\frac{11111}{m/b}$	(43)	ppili		
插 滩畄凸	(0)			(0)	Ir or		(20)	m/min (20)	(44)	IN d		
保毕单位	(9)	111 m ³ /h		(9)	kg kg/b		(21)	m/n ()	(43)	rau		
	(10)	m ³ /min		(10)	kg/II		(20)	m/s	(40)	1 pill SDm		
	(11) (19)	ш / Ш1П MW (18)		(11)	kg/m ³		(20)	m ³ /s	(47)	Эгш +		
	(12)	n/min		(12)	кg/ш Ы		(30)	ш/S Mpo	(40)	t /h		
	(13) (14)	т / ш111 V		(13)	LN LN		(30)	Myor	(49)	TPm		
	(14)	W (18)		(15)	kn kDo		(32)	MW (20)	(50)	W (20)		
	(10)	n ()		(16)	kvor		(34)	NIN ()	(51)	WPm		
	(10)	<u>∕∪</u> ℃		(17)	LW KVAI	(20)	(34) (34)	N•m	(52)	11 III		
	(18)	<u> <u> </u> 単位たし</u>		(18)	L	\ /	(36)	Nm ³ /h	(53)	μm μS/cm		

注(17) 液晶表示は主監視:18 種類、副監視:13 種類となります。

注(18) 主監視のみ液晶表示可能です。副監視は液晶表示できません。

注(19) レタリング表示は主監視:50 種類、副監視:55 種類となります。

レタリングの文字高は主監視:8.5mm、副監視:5mmとなります。

レタリングの文字色は灰色(DIC 第 13 版 541)となります。

注(20) 副監視のみレタリング表示可能です。主監視は液晶表示となります。

7.3 性能(1)

	項目	仕様			
デ	ジタル表示許容差	土1.0%			
バー	ーグラフ表示許容差	±5.0% (スパンに対する%)			
	温度の影響	23±10℃で許容差内			
		JIS C 1102-1:1997 ··· 直動式指示電気計器 第1部	: 定義及び共通する要求	(事項	
		JIS C 1102-2:1997 ・・・ 直動式指示電気計器 第2部:電流計及び電圧計に対する要求事項			
		IIS C 1102-7:1997 ・・・ 直動式指示電気計器 第7部:多機能計器に対する要求事項			
	準拠規格	IIS C 1102-9:1997 ··· 直動式指示電気計器 第9部:試験方法			
		UIS C 1111:1989 ・・・ AC-DC トランスデューサ			
		JIS C 1010-1・1998 ・・・ 測定、制御及び研究室用電気機器の安全性 第1部・一般要求事項			
	表示更新時間	約1秒 (バーグラフは約0.25秒)			
		主監視 文字高 10mm 4 桁			
	表示素子/構成	液晶表示器 副監視(左),(右) 文字高 6mm 4 桁	副監視(左),(右) 文字高 $6mm$ 4桁		
		バーグラフ 30 ドット	バーグラフ 30 ドット		
	XLC-110 (バックライトなし)	(1) AC85~253V 50/60Hz 10VA (定格電圧 AC100/110V	. 200/220V)		
		DC80~143V 5W (定格電圧 DC100/110V) 交流直流両用			
		(2) DC20~56V 6W (定格電圧 DC100/1107) 文化進化に内方 (1) か(2) いざわ			
		(1) AC85~253V 50/60Hz 12VA (定格電圧 AC100/110V	V 200/220V) カデ指定		
補	XLC-110L	DC80~143V 6W (定格電圧 DC100/110V	名電圧 DC100/110V, 200/220V/ 2007		
助	(バックライト付)	(2) DC20~56V 7W (定格電圧 DC10/ HOV) 文优世优心(内/)			
電		定格電圧 AC110V 5.2A 以下(約1.7ms)			
源		定格電圧 AC220V 10.4A 以下 (約 1.7ms)			
	突入電流	c 农 雪 正 DC110V 3 7A 以下 (約 1 7ms)			
	(時定数)	定格電圧 $DC24V$ 5 5A 以下 (約3.6ms)			
		定格電圧 DC48V 10 9A 以下 (約 3 6ms)			
		電圧回路 定格電圧の2倍10秒間 12倍連続			
		電流回路 定格電流の10倍5秒間 12倍連続			
	過負荷耐量	定 故 雪 耳 の 1 5 位 10 秒 問、1.2 旧 足 税			
		補助電源 $DC110V O $ とき、定格電圧の 1.5 倍 10 秒間、	1.3 倍連続		
		雷気回路一括と外箱(アース)間			
		入力、出力、補助電源相互間	DC500V 50MO R/ H		
	絶縁抵抗	入力相互間			
		アナログ出力相互問 非絶縁(マイナス:		モン)	
		電気回路一括と外箱(アース)間			
		入力、出力、補助電源相互間	AC2000V (50/60Hz) 1	分間	
	耐電圧	入力相互間			
		アナログ出力相互間 非絶縁(マイナスコチン)		モン)	
雷インパルス耐雷圧		〔回路一括と外箱(アース)間 5kV 1.2/50 <i>u</i> s 正負極性 各3 回		極性 各3回	
		(1) 振動性サージ電圧			
		1~1.5MHz, ピーク電圧:2.5~3kVの減衰性振動波形を繰り返し加えたとき、誤差±10%以内			
		電圧、電流回路(コモン)			
		電源回路(ノーマル/コモン)			
		(2) 方形波インパルス性ノイズ			
		1μs, 100ns 幅のノイズを繰り返し5分間加えたとき、誤差±10%以内			
		電圧、電流回路(コモン) 1.5kV以上			
	ノイズ耐量	電源回路(ノーマル/コモン) 1.5kV以上			
		外部操作入力(コモン) 1.0kV以上			
		アナログ出力(誘導) 1.0kV以上			
		(3) 電波ノイズ			
		150MHz, 400MHz 帯の電波を 5W, 1m で断続照射及び、携帯電話の電波を 1m で断続照射したと			
		き、誤差±10%以内			
		(4) 静電ノイズ			
		通電時 8kV で誤差±10%以内。無通電時 10kV で損傷のないこと。コンデンサチャージ方式			
振動・衝撃 振動:片振幅 0.15mm, 10~55Hz 毎分1オクターブで5回掃引					
衝撃:490m/s ² 各方向3回					
	構造 外形:110×110×104.5mm [横×縦×奥行], 胴径 99mmφ, 端子カバー付				
	材質 ケース、カバー:ABS(V-0) 、端子台:PBT . 端子カバー:ポリカーボネート				

7.3 性能(2)

項目	仕様
外観色	黒色(マンセル N1.5)
質量	約 520g
停電保証	最大値、最小値、設定値 不揮発性メモリにてデータ保持
使用温湿度範囲	-10~+55℃ , 30~85% RH 結露しないこと
保存温度範囲	-25~+70℃

7.4 オプション仕様 〔ご指定により以下の入出力付製品の製作が可能です。〕

項目	仕様				
	出力回路数	最大3回路			
	定格	DC4~20mA (550Ω以下)			
		DCO~ 1mA (10kΩ以下)			
		DC1~ 5V (600Ω以上) いざわか同一定故でご指定 (21)			
		DC0~ 5V (600Ω以上) Vig 4 UN-IN 定格(二指定()			
アナログ出力		DC0~10V (2kΩ以上)			
		上記以外			
	許容差	$\pm 0.5\%$			
	応答時間	1秒以下(最終定常値の±1%に納まるまでの時間)			
	出力リプル	出力スパンに対して1% P-P以下			
	出力相互間は非絶縁(マイナスコモン)				
	入力要素	外部リセット×1点			
	入力仕様	外部リセット:外部から電圧信号を加えることで最大値、最小値のリセットができます。			
		入力は補助電源と同一定格となります。			
外部操作入力		(1) AC100/110V 0.4VA, AC200/220V 1.4VA, DC100/110V 0.4W 交流直流両用			
		接点容量:約 3mA(AC, DC100/110V),約 6mA(AC200/220V)			
		(2) DC24V 0.3W, DC48V 1.2W			
		接点容量:約10mA (DC24V),約20mA (DC48V)			
· 注(²¹) 1) アナログ出力 / 準制 作 統 田 · · · · · · 雪 圧 出力 + 100 mV ~ + 10V					
[[[[[]]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]					
出力回路数は、入力回路数と同一になります。					

2) アナログ出力特殊製作範囲 ・・・・ 1. 定格が同一でない場合

- 2. 入力回路数と出力回路数が同一でない場合(例:3入力→1出力)
- 3. 電流出力 ±100μA~±499μA

(アナログ出力許容差が±0.5% → ±1.0%に変ります)

● 外部操作入力使用上の注意事項(オプション)

外部操作入力の消費電力は AC110V 時 0.4VA、DC110V 時 0.4W、AC220V 時は 1.4VA です。 電源供給にリレー又はスイッチを使用する場合、最小適用負荷 1mA 程度のものをご使用ください。



8. トラブルシューティング

現象	推定	処置
	補助電源が供給されていない(配線されていない,電圧が 低い)	補助電源の確認,再投入
表示器か点灯しない	計測表示 ON/OFF 設定が OFF になっている	設定の確認
	機器故障	機器の交換
計測値の誤差が大きい	レンジの設定が正しくない	再設定
アナログ出力が出力されない	アナログ出力が OFF に設定されているか、計測表示が OFF に設定されている	設定の確認

付図1

バースケール目盛区分詳細

バースケール内の数字は、下図液晶画面の数字に対応しています。(実際の液晶に数字は表示されません) また、目盛区分はフルスケール値により異なります。











 $(-N\sim 0\sim N)$





● 「蒸第ーエレクトロニクス

本 社 住 所:〒121-8639 東京都足立区一ツ家一丁目11番13号 (東京営業所) 電 話:03(3885)2411(代表) FAX:03(3858)3966

京都営業所 住 所:〒610-0114 京都府城陽市市辺西川原1-19 電 話:0774(55)1391(代表) FAX:0774(54)1353

作成 2020/ 3/ 9 Rev. A